

海興を覗いてみれば

とになりさうである。値段がお高いのが玉に瑕だが、原さんの女房役山崎支配人は、他の薬と違つて十日に一本打てばいいので一本十軒でも實際は一軒にしか當らない、それに免疫培養に日数を食ふのでは打明けた處その位で賣らないと割が合はないんだ。

聖市の中心ララゴ

「海興さん」が案外容易に而も速に出来上つたのもこの無形の財産「二十萬」が……と云つたとお金ぢやない……あつたればこそで、二十幾年にわたつて移民さんの世話に當つた苦心やら親心やらが今こそ報ひられた譯だ。その點「新體制下の龍児」銀行部も商部もAIOで名高い原商會も往年の華かきは失せ

大痛棒

「二分制限」直と世間から一様の診断を下された海興さんの運命も「古暖簾」の有難さ。それから、それへの新事業が悉く圓に當つたおかげで、數年ならずして「昔を今に」取戻したばかりか、益々繁榮一途を辿つてゐる。……全く、世間は感傷好きで早い。御三家海興ともあらうものが、嵩が「二分」ぐらゐで何處かへ消へてなくなる筈がないんだが、直ぐ縁起でもない事を考へたがるので困る。尤も御三家で思ひ出したが、もうこれで海興さんも終り(尾張)一洒落のめしたと言ふなら話は別だ。「海興」「カイコウ」「KKK」「K」……この「商標」を知らぬ邦人が、二十萬中、例へ一人でもあらうか、若ししたら、それこそ大變、蔭さんの親類縁者と間違へられても文句の云へた筋ぢやない。

海興さん

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

此の数字を見ておくれ

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

救助歸國取扱年度別件数

年度	件数	男子	女子
昭和二	二五	一三	一二
昭和三	二五	一三	一二
昭和四	二五	一三	一二
昭和五	二五	一三	一二
昭和六	二五	一三	一二
昭和七	二五	一三	一二
昭和八	二五	一三	一二
昭和九	二五	一三	一二
昭和十	二五	一三	一二
昭和十一	二五	一三	一二
昭和十二	二五	一三	一二
昭和十三	二五	一三	一二
昭和十四	二五	一三	一二
昭和十五	二五	一三	一二
昭和十六	二五	一三	一二
昭和十七	二五	一三	一二
昭和十八	二五	一三	一二
昭和十九	二五	一三	一二
昭和二十	二五	一三	一二
計	二五	一三	一二

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

本日別入別縣 附番民移

前頭	高知	鹿兒島	小結	關西	關東	大關	前頭	高知	鹿兒島	小結	關西	關東	大關	前頭	高知	鹿兒島	小結	關西	關東	大關
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

勸進元海興移民部 年寄 明種梅吉 行司 坂元 靖

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

「海興」移民を送りつづけたのは野となれ山となれ、不屈な精神と人達への愛を形相物といふにこの数字を

<p>食堂 昇月</p> <p>聖市コンデ・ド・ビニ ヤール一五四</p>	<p>謹賀新年</p>	<p>美術高級製本 大塚正友</p> <p>聖市トーマス・デ・ リマ四二四</p> <p>負請築建 具家…… ……切一仕事工大に並 吉忠村小</p> <p>一九スダーセルサ・デ・デンコ市聖 六五九五、二 話電</p>	
<p>チンツラリア カザカビタル</p> <p>本店 聖市インデ・ド・ビニヤール九四 電話 二二一四〇</p> <p>支店 聖市ビトリア三四〇 電話 四一九三八</p>	<p>東洋書店</p> <p>聖市コンセルイロ・ワルタード街二六 郵箱 三二三八 電話 三三四七五三</p>	<p>伯國邦画シネマ興業社</p> <p>平 谷 天 公 洋 泰</p> <p>聖市ドットル・ルンデ街五六 電話 二・六七九〇 郵箱 二一七六</p> <p>執務時間 午前九時より十一時まで 土橋法律事務所 【日伯産業會社内】 經濟學士 パウロ・土橋 正路 聖市シルヴェイラ・マルチネス街七二 電話 二・九三九九 郵箱 三三三九</p>	<p>料 亭 富美の家</p> <p>聖市タバチンゲラ街七二 電話 二・一七六一</p> <p>チンツラリア・ウニヴェルサル</p> <p>聖市コンセルイロ・ワルタード街一三三七 電話 七四四八五</p>
<p>各種日本品直輸入商 大和種苗特選種子一手販賣店</p> <p>伊藤商會</p> <p>聖市イルマン・シンアラシア街七八 電話 二一七八四 郵箱 三三三二</p>	<p>津波古裁縫所</p> <p>津波古ツル子 同 文 子</p> <p>聖市タバチンゲラ街一九</p>	<p></p> <p>元島寫眞館</p> <p>聖市ラルゴ・ラウロ二二一 三階 電話 二・七五八七</p> <p>齒科 金城山戸</p> <p>診療所 クリストボン・コロネボ街三二階 電話 二一八〇五八 自宅 マイロレ・テオドワラ街四三四 電話 七三三八四</p>	<p>料 亭 梅の家</p> <p>聖市コンデド・ビニヤール街一六 電話 二・八四三〇</p> <p>各種時計、蓄音機、レコード、マネ、貴 金屬類、高年並並附屬品販賣及修理、高級 スイス製、獨逸製、日本製、各國製輸入品</p> <p>白田時計店</p> <p>聖市ビネイロス 本店 マルチンカラスコ街五八 支店 カルデアル・アル コバルデ街二六三六番</p>
<p>ミツワ旅館</p> <p>聖市タバチンゲラ街三五 電話 二・三五一四</p>		<p></p> <p>SOCIEDADE COLONIZADORA DO BRASIL</p> <p>VENDEM-SE LOTES DAS FAZENDAS</p> <p>BASTOS TIETÉ ALIANÇA TRES BARRAS Est. RANCHARIA Est. LUSSANVIRA Est. MIRANDOPOLIS Est. JATAÍ-PARANÁ L. Sorocabana L. Noroeste L. Noroeste L. S. P. - Pôrto</p> <p>Sede: PRAÇA DA SE, 399 - S. PAULO - C. P. 2975 - Fones: 2-3120, 2-3121, 2-3122 e 2-3129 - End. Teleg: "LOURENÇO"</p> <p>IMPORTAÇÃO Cará Bratac EXPORTAÇÃO</p> <p>Caixa Postal, 2-X - Fones: 2-1145 e 2-1002 - Est. Integral: "BRTAC" - SÃO PAULO SUCURSAIS: Rio de Janeiro - Santos - Porto Alegre - Montevideo - Recife Belo Horizonte - Nova York - Shanghai - Osaka - Tokio</p> <p>Empresa Construtora Bratac</p> <p>Engenheiros-Architétos-Construtores PRAÇA DA SE, 399 - 4. andar - Fone: 3-6639 - Endereço Teleg: "DOBOC" - SÃO PAULO</p> <p>Algodoeira Bratac Ltda.</p> <p>RUA ANCHIETA, 35 - 4. andar - Telefones: 3-2915, 3-2941, 3-6566 Salas - 405/406 - Cx. Postal, 1630 - ENDEREÇO TELEGRÁFICO: "HAKUMEN" - S. PAULO</p>	
<p>Algodoeira do Sul Ltda.</p> <p>Edifício Conde Matarazzo 12º and. Rua Dr. Falcão Filho, 56 - C. P. "e" (n inusculo)</p> <p>聖市 南米棉花會社</p> <p>島・清二郎</p>			

電撃手訪問記



大所帯
電撃手

行員は西原氏の懐刀

一階は今改装中

三階でザアヤ

最良は四階也

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

四階は技術部と調査部

海外移住組合が、第七十議会の賛意を得て日南産業株式会社に生れ変わったのが昭和十二年九月、昨年九月で満四年になるが、設立當初の事業目論見通り豪華な舞臺が進んでの事も日の出の勢ひの發展振り、將にこの世を我が世と思ふ...の言葉通り、この不景氣に景氣のいゝのは、こぼりと云つた感じがする。

プラ拓さんが、今はペンションになつてゐるコンデの蜂の集みだいな事務所、豊富な持駒をもつて隣りのアパート迄借り受け、それも足らぬから今度はビルヂングを建てたんだと聞いた時には、何やかやと悪口は云ふもの世間は眞實のところ力強さを

前口上

一階(日本式云々)は全銀行部、昨年十一月十四日に資本金一千五百万に増額、急遽伯國銀行界に堂々押し出したのであるが、支配人の西原さんはプラ拓設置以來の舊所を預つて今日の大プラ拓の古理であり、銀行部が出来ると直ぐの支配人になつて、何から何まで切廻して居る事務家の如くない備へて、仕事に對する熱意といふか、そのなんといふか(彼氏の口ぐせです)はすばらしい

二階(日本式云々)は全銀行部、昨年十一月十四日に資本金一千五百万に増額、急遽伯國銀行界に堂々押し出したのであるが、支配人の西原さんはプラ拓設置以來の舊所を預つて今日の大プラ拓の古理であり、銀行部が出来ると直ぐの支配人になつて、何から何まで切廻して居る事務家の如くない備へて、仕事に對する熱意といふか、そのなんといふか(彼氏の口ぐせです)はすばらしい

三階(日本式云々)は全銀行部、昨年十一月十四日に資本金一千五百万に増額、急遽伯國銀行界に堂々押し出したのであるが、支配人の西原さんはプラ拓設置以來の舊所を預つて今日の大プラ拓の古理であり、銀行部が出来ると直ぐの支配人になつて、何から何まで切廻して居る事務家の如くない備へて、仕事に對する熱意といふか、そのなんといふか(彼氏の口ぐせです)はすばらしい

四階(日本式云々)は全銀行部、昨年十一月十四日に資本金一千五百万に増額、急遽伯國銀行界に堂々押し出したのであるが、支配人の西原さんはプラ拓設置以來の舊所を預つて今日の大プラ拓の古理であり、銀行部が出来ると直ぐの支配人になつて、何から何まで切廻して居る事務家の如くない備へて、仕事に對する熱意といふか、そのなんといふか(彼氏の口ぐせです)はすばらしい

年頭所感

宮坂 國 人

昭和十六年の新春を迎ふるに當り、謹みて天城無窮の皇運を慶祝し奉り皇國の隆昌を祈念し、更に極東の陸に海に奮戦する我が帝國陸海軍將士の武運長久を祈願致します。

さて新年初頭に際し感ずる所の二三を述べて見度いと存じます。

一、歐洲戰爭

歐洲戰爭のために種々の影響を直接、又は間接を受けて居ない國はないのでありますが、當伯國は幸ひにして比較的影響が少い國と謂へ得るだらうと思ひます。從つて吾等には暢快な気分が何となく有るものであります。歐洲戰爭は今日如何なる結果に

落付くか豫測を許さず、如何なる大事件が突發するか判らぬのであります。故に吾等は如何なる大變動が起らうとも周章狼狽しなすだけの心算えと準備を致し置かねばならないと存じます。

二、支那事變

支那事變は我が大和民族が経験せる未曾有の困難である。又我が民族が實施せんが未嘗有の國際的發展の努力であります。一萬二千哩の帝國を離れてゐる吾等は母國が眞に非常時であり、實に帝國興廢の軌路に立つ秋である、此れは最も慎むべき事であり、更に支那事變と在伯邦人の仕事に直接の關係のある事を深く認識しなければならぬと思ひます。支那事變が幸ひに軍事的には本年中に解決出来るものとして、日本民族の要求する中細新秩序なるものは五年十年で得られる程容易なものではないのであります。支那の經濟的關係だけでもどれだけの人力と資本を必要とするか、一寸見當てもつかぬ

のであります。人力の事は暫く於此此の必要なる經濟力に對する貿易の伸張、企業の進展といふ如き力が必要なる事は申すまでもない事であり、隨て在伯邦人の努力が直接に前記の如き問題に貢獻し得る事は明かな事であり、吾人稍もすれば直接戦場に於て御奉公が出来ぬ事は日本民族の一人として生甲斐のないやうに感ずるのであります。近代の戰爭と國力の發展といふものは經濟力の充實を缺くべからざる要素とする事を思へば吾等當國に於ける努力も直接に大和民族發展の大使命に貢獻し得る次第であります。此の自覺と信念を持ち新らしき年に踏み出すことが必要と存じます。

三、母國の新體制
母國は新體制が樹て、着進んでゐるのであります。母國新體制は明治維新以來の思想的改革であり、社會的變革であらうと思ひます。吾等は我が母國が斯

の如き異常なる決心と國策に基き邁進してゐる事を充分認識して行かねばならないと思ふのであります。前記の如き世界の變動及母國の非常時に際し、然らば吾等は何なる事業方針や生活態度で行くべきかといふ問題であります。結局一言にして之を言へば、各自の身分に對し最善の努力を盡すべしといふことに歸着致しますが、夫れにしても此の際特に注意すべき點が二つあらうと思へます。

第一は日本人間の協力を強める事、即ち小異を捨てて大同に就き、協同して日伯兩國のために協力をすることである。第二は吾等の仕事なり生活に對して出来るだけ科學的な方法を採用するといふ事が必要であると思ひます。獨逸の戰勝の根本的原因は獨逸に、加ふるに獨逸に科學を利用し、合理的に物事を取り進んだ點にあると思ひます。日本精神の高揚と共に科學の研究を一層致さねばならぬものと信ずる次第であります。

HOTEL CENTRAL

今度の慶賀氏より譲り受け引継ぎ経営致す事に相成候何卒倍舊に増して御引立てのほどを懇願申上候

ホテル
セントラル
東利徳

巴延長線ツパン市

謹賀新年

パール
カキダ
柿田隆登

バウリスタ延長線
ビーラ・カンバンテ

ボンベイア町 商工会

- 金物商 太田商會
内外雜貨商 福田商店
同 菅山支店
同 河野横井商店
同 井上兄弟商店
同 藤岡商店
同 濱崎岡田商會
同 大迫榮
同 宮崎義雄
同 岡田喜一
同 田邊敬秀
製菓業 花田繁雄
家具製造業 清水唯雄
モイニョデカフエー 富田一次
シンガミミン代理店 森時雄
ハトヤ文具店
藥局 本田藥店
パザールOK 小田啓一

ウニヅエルサル建築會社代理人

東京旅館

豊田國次郎

ソロ線アパレ驛バラ一街二十五

雜貨商

永田商店

サンタクルース・ド・リオバ
ルド市
コンセルロ
ダタス町五九五

成宮徳松

マリリア市
サンタアマロ植民地

旭旅館

森本與一
ソロ線オウリンニヨス驛
電話 五一

橋富士雄

ソロ線オウリンニヨス市

パール
花崎集人

ソロ線ア・フルデンテ市
郵函 四二一

明榮堂鍼灸治療院

鍼灸師 高橋てるえ
ソロ線ア・フルデンテ市
郵函 八一
御來訪の方は左記の
旅館をお尋ね下さい
【東洋旅館、片岡旅館】

パール・イデアール

崎原盛久

ソロ線アラグワス驛
ヒツデ・デ
セツテンアロ街四三二

小松寫眞館

小松重
ソロ線ア・フルデンテ市
郵函 一〇九

尾畑金作

ア・フルデンテ市
郵函 四九九

確井家具製作所

ガクブエガラク販賣
ソロ線ア・フルデンテ市
郵函 三五

内外雜貨商
藏本作次郎

ソロ線ア・フルデンテ市
(サンタカウザの通り)
郵函 二四九

料亭二葉

コジネロ並に
女中さん募集
ソロ線ア・フルデンテ市
中垣キヨ子
ソロ線ア・フルデンテ市
郵函 三七四

パール中村

巴延長線ツパン市

内外雜貨

黒澤商店

ソロ線ア・フルデンテ市
郵函 三〇〇

内外雜貨

志商商店

牧野有作
ソロ線ア・フルデンテ市
郵函 二二九 電話 二一六

東洋旅館

前園次郎
ア・フルデンテ市 電話 一七四 郵函 一〇九

片岡旅館

片岡音吉
ア・フルデンテ市 郵 一一一 電 五九九

農産物並に棉花仲買
三宅仁藏

ソロ線ア・フルデンテ市
電話 五九九 郵函 一三八

Bazar Paulista

内外雜貨、小間物類一切
卸小賣、書籍及學用品一切
島袋小間物店
本店 マリリア市サンリス街八一八番
支店 マリリア市パロンデスバタル街
一五五番 電話 四六

棉花農産物仲買

内外雜貨、食料品、金物、瀬戸物、小間物
化粧品、文房具、種子、肥料、農用藥劑
農用機具、母國月刊雜誌、日本品各種
蓄音機、レコード販賣

鎌田商店

店主 鎌田六之助

アララクリ線タクリチンガ市
電話 二二三 郵函 二二一

土地周旋

清水榮介
有田豊次郎

事務所 マリリア驛前、澤尾ホテル内

堤旅館

堤喜作

ソロ線ア・ベルナルデス町 郵函 三

本年も相變らず
御引立てのほどを……

身邊雜話



紫峰生

浪人二 十年 隨 生は武者修業であつた。青春の夢を追求めた二十歳の自畫像を叙するに時代が余りにも變化してゐる。私は會堂の生活も二年つた、キリスの神學校の門も二つた。...

をす。家では湯衣一枚素裸に着て居る。凡そ和服は着て居ない。着心地のよいものはあるまい。私はビッチャマが嫌ひで、たつた一度作つたり、再び着やうとは思はぬ。父はシャツが嫌ひで一生を通じてシャツをきたことはなかつた。...

聖州内ではモヂアナ線ほど至る處に他線はないやうだ。パウルスタ線には柑橋類の如く、至る處に多いのが特長だ。さてノロエステ線には何が特長かと旅の想出を冥想してみても、沿線唯これ珊瑚樹である。...

聖州を旅して好きなところ

公孫樹

人村がある。これは考古學的に永く保存されねばならぬ村である。私は懐かしう感じた處だつた。現に海聖州奥地を駁横に旅して見て、こはいいなと感した處は、私には妙な。皆んな凡な處、俗な處、まあどうして斯うも聖州は、凡ならんらうか。...



輸出入爲替決済

尾形 義雄

聖市ケンゼ・デ
ノベンプロー一五〇
七階七七七八號室
電話 三一九九二三
三一六三二八

高口 進

聖市ケンゼ・デノベンプロー一五〇
七階七七七八號室
電話 三一九九二三
三一六三二八

松本 巖

チンツラリア、エスベランサ
聖市リベルターデ街四〇〇
電話 二一四三九六

謹賀新年

洗濯店
高野 寅城

聖市ジエネラルオザリオ一六

同盟通信社通信員
大阪貿易郵便通信員
東京商工獎勵館通信員

椎野 豊

リオ・デ・ジヤネイロ市
スルビン街一三三二
電話三〇・二〇七七

聖市 家具商 組合

- カーザ 東京
- カーザ ミカド
- カーザ 東郷
- カーザ アヅル
- カーザ 濱岡
- カーザ 廣島
- カーザ 跡治
- カーザ 木田

一葉屋洋服店

聖市コンセルレイロ・

フルタード街一四二

Auxiliadora Comercial
RIKIO FUNAKI
L. 7 de Setembro 104
Tel. 2-3824 - caixa, 1257

▷税務業一般◁
船木事務所
聖市ラルゴ、セツテ・デ
セテンプロ一〇四

ホテル 旭

聖市アラメダ・クレベラン一五五
ソロカバナ驛前、電話五・三二八〇



平井寫眞館

ソコ線ゾ・ブルデンテ市
メルカード前

岡山齒科

聖市コン・デ・ドビニヤール一三五
電話 二・六〇三七

泉川製作所

▲貯金箱、醫療器、其他鐵力細工▼
聖市コンセルレイロ・フルタード街九
電話二・七六五九 郵箱二四七二

球陽協會聖市支部

郵箱 三七〇〇

都ホテル

聖市イルマン・シンダリシアナ街一九
電話 二・七四二五

西岡廣一

▽野菜仲買委託販賣其他各種△
聖市中央市場内、バラツカ三番

義村取吉

聖市青物市場、コンバルチメント二十番

長森聖榮堂

越中 賣藥
富山 輸入
聖市 支店 郵箱 四二二八
富山市堀端町
ハツイホノル市郵箱二二九九



- 【紅茶】
- 【綠茶】
- 【番茶】
- 【紅茶】
- 【綠茶】
- 【番茶】
- 【品質】
- 【優良】
- 【無比】

園茶本岡

CASA MATRIZ J. HIGASHI & CIA.

OSAKA - RIO DE JANEIRO
RUA DA AL ANDEGA, 110 Loja - Tel. 23 4453 - RIO DE JANEIRO

東商會

聖市
ルア・ダ・アルファンデガ一〇
電話二三・四四五三

陶磁器輸出入商

CASA MAEOKA

内外食料品
雜貨類一切

前岡商店

聖市カンタレイラ街二三三五番
中央メルカード前
郵箱 三五四八
電話 三・四三三三



Carlos Garcia, 109 São Paulo

濱岡肥料農具店

セーレス街106
電話2・7581 郵箱993

濱岡家具販賣店

サンタ・エウジニウ街番205當

和洋製菓卸並に小賣店

西中製菓所

聖市コンセルイロ・フルタード二三
電話 二一八三八三

公認
日伯裁縫女學校
公認
日伯葡語小學校
R. Galvão Bueno, 362
Tel. 7-7710 - S. Paulo

謹賀新年

坂野 織工場

聖市ビネイロス

佐古田時計店

聖市コンヂョド
ビニヤール一五四

精 賣 一 般 金 融
買 棉
ブラス
コツト社

BRAZCOT LTDA.
R. Boa Vista, 116 S. Paulo

“São Paulo”

Cia. Nacional de Seguros de Vida
Rua 15 de Novembro 330 5º and.

☒...サンパウロ生命保險會社代理人...☒

本 社 聖 市 賀 數 輝 俊
曲 香 尾 本 好 人
高 橋 達 雄
サ ン ト ス 橋 建 造
リ ン ス 口 房 吉 吉
ア ラ ッ ツ バ 山 山 房 吉 吉
マ リ リ ヤ 山 山 忠 司
浮 田 田 忠 司
増 田 萬 藏

サン印魔法瓶直輸入元
聖市 瀧波商會

シルベイヤマルチンス 六五
電話 三・四七四六

昭和十六年元旦

在伯日本人同仁會

日本病院

職員従業員一同

Casa Hase
D E
Sakuro Hase

Importador de Artigo Japonês
C. P. 2-A Phone 2-1575 - R. Irmã Simpliciana, 102
SÃO PAULO

羽瀨商店

羽瀨作良

目 種 業 營

食料品、小間物、野本種、
子、文房具、金物、陶器
自轉車、電氣配線器具、
書籍、雜誌、運動具、賣
藥、雜貨、玩具、レコー
ド、蓄音機

賣 販 手 一 一 並 約 特

精工寄時計、山内式製麵
器、ビクター、テイテク
レコード、蓄音機、養命
酒、わかもと、わかもと
ぶどう酒、自力健康器、
オリングス印刷機、方
古式雕版、諸星印刷用
インク

富士屋運動具店

聖市 タマンダレ街三四六 電話 七・六九五六

Casa Assahi Ltda.

Rua Itapura de Miranda 58 Tel. 3-2584 - S. Paulo

カーザ朝日

日用雜貨、養鶏飼料、肥料各種子
農用藥劑、農産物委託販賣

聖市ルアイトアラ・ア・ア

ミランダ五八番
電話三二五八四番

EMPRESA NIPPO - BRASILEIRA LTDA.

R. Silveira Martins 72 - C. P. 3329 S. Paulo

日伯産業會社

土 地 部
保 險 部
商 事 部

聖市シルベイヤ・マルチンス七二
電話二一九三八九
郵函 三三二九
ピリアニット植民地事務所
サンパウロ・パラナ線
ピリアニット驛

NOGUCHI & CIA.
 Rua X 26-28 Lado Externo, 100 e 102
 Telephone, 42-8948
 Mercado do Municipal - Rio de Janeiro

野口商店

リ
オ
市
中
央
市
場
電
話
四
二
・
八
九
四
八

船舶買込業並農産物仲買

年 新 賀 謹

リ
オ
青
年
會

シ
ル
ヴ
エ
イ
ラ
・
マ
ル
チ
ン
ス
一
四
六
電
話
二
五
・
三
八
六
八

Casa Bratac

カ
ー
ザ
・
ブ
ラ
タ
ク

リ
オ
デ
ジ
ャ
ネ
イ
ロ
事
務
所

ア
ヴ
エ
ニ
ー
ダ
・
グ
ラ
ッ
サ
・
ア
ラ
ー
ニ
ア
三
九
A
電
話
四
二
・
七
八
四
〇
四
二
・
八
五
〇
八

Associação Economica Nippo-Brasileira
 Rua Mexico, 174 - Tel. 42-3426
 Caixa Postal, 1120 - Rio de Janeiro

部 支 會 協 濟 經 伯 日

〇 二 一 一 函 郵 六 二 四 三 〇 二 四 話 電 四 七 一 街 コ シ ネ マ 市 ロ イ ネ ヤ ジ ・ デ ・ オ リ

Associação Central Nippo - Brasileira
 Bureau de Informações

會 協 央 中 伯 日

七 二 五 四 〇 二 四 話 電 地 番 二 街 オ イ セ バ (ヤ ジ ン ラ ネ シ) 階 二 場 劇 シ オ デ オ ネ シ 市 オ リ

Rua Acre No. 49 Rio de Janeiro
 Caixa Postal, No. 76 Endereço Telegr. "SHIRATO" Tel. 23-6020

座 木 白 土 商 店

農 産 物 委 託 販 賣 及 び
 茶 ツ ッ ビ ー 組 合 リ オ 市 代 理 店

リ
オ
デ
ジ
ャ
ネ
イ
ロ
市
水
晶
物
輸
出
商
白
土
貫
治

Kojiro Sawamura

Rua Gel. Camara 104 sob. Tel. 43-0484 Rio de Janeiro

澤 村 幸 次 郎 商 店

日 本 毛 織 會 社
 安 東 商 會
 日 本 拓 植 會 社

各 代 理 人

リ
オ
デ
ジ
ャ
ネ
イ
ロ
市



蔣の秘密

彼は最近夜に必ずしもやめるべき空軍の本日は...



タリー線の工事の進行

「いまはなにを設計の工事...」



太平洋に於ける海軍大演習

「ウホホ、我が海軍は、戦艦の國英...」

漫談

ハリキリ帳 西村楽天

国民精神總動員... 西村楽天の漫談「ハリキリ帳」の冒頭部分。主人公が自動車に乗ったところから始まる。第一、紙の方向... 第二、紙の方向... 第三、紙の方向...

「君、お酒は...」と、お酒の話題から始まる。その後、車での会話や、友人とのやり取りが続く。背景には戦時下の社会情勢が感じられる。

「さあ、それは...」と、会話が続く。主人公の態度や周囲の反応が描かれる。物語は、戦時下の日常と、それによる人々の心境の葛藤を扱っている。



子供欄

お伽話

チヤボチーと木の實

藤村唯紅子

昔昔、ブラジルの大きな森の中のお話です。春になるとイペの花ジャカラ、ラングの花、ピツタンガの花、アムラ、アムラの花等、赤や紫や、桃色、白等の花が次から次へ咲いて美しくなつて行きます。コレズモの山だの山の紅白の花が、かかしらの様に森をかざつてくれるころには、ボク／＼と色々の木の實が熟しはじめます。

「お、チヤボチー君、君は木に登ることを知らないだろ？ 僕に登らせなさい。そして、つかり木の實を採つてから、僕に木の實を採つたおだらんに少し分けておくれ」と云ひました。チヤボチーはその通りにさせました。悪がしこいオンサは袋に一杯木の實を、つめこむと、一つもチヤボチーにやらずに、袋をかついで一目散に逃げて行きました。チヤボチーはカンカンに怒つて、川のふちまで追ひかけて行きました。「お、オンサ、その袋をおくれよ、僕は君より泳ぎが上手なんだから」と云ふと、オンサは袋をチヤボチーに渡しました。

川の向ふ岸が近く見えるころになると、オンサは、又チヤボチーをだまして殺してやろうと思つて、チヤボチーに渡した。チヤボチーもそんな計略は、チヤボチーもちゃんと知つてしまひました。オンサがかうして居る近くの大きな木の根のほらあなの中にかくれました。オンサは気がついて見ると

「お、チヤボチー君、君は木に登ることを知らないだろ？ 僕に登らせなさい。そして、つかり木の實を採つてから、僕に木の實を採つたおだらんに少し分けておくれ」と云ひました。チヤボチーはその通りにさせました。悪がしこいオンサは袋に一杯木の實を、つめこむと、一つもチヤボチーにやらずに、袋をかついで一目散に逃げて行きました。チヤボチーはカンカンに怒つて、川のふちまで追ひかけて行きました。「お、オンサ、その袋をおくれよ、僕は君より泳ぎが上手なんだから」と云ふと、オンサは袋をチヤボチーに渡しました。

「お、オンサ、その袋をおくれよ、僕は君より泳ぎが上手なんだから」と云ふと、オンサは袋をチヤボチーに渡しました。チヤボチーはカンカンに怒つて、川のふちまで追ひかけて行きました。「お、オンサ、その袋をおくれよ、僕は君より泳ぎが上手なんだから」と云ふと、オンサは袋をチヤボチーに渡しました。

チヤボチーが居りましたので大きな聲で呼びました。「チヤボチー、チヤボチー、チヤボチー」するとチヤボチーはすぐそばで「オー」と返事をしました。オンサはびっくりしてあたりを見廻しますと、誰も居ません。オンサはキツとそれは自分の尻尾が返事をしたのだと思ひました。それで何べんもチヤボチーを呼びましたがいつもそのそばで「オー」と返事をします。「おだまり、私のしつぽめ」とオンサはたう／＼怒つてしまひました。

その中にマカコが通りかかりました。オンサは、自分の尻尾が、云ふことを聞かないでいたづらに返事ばかりするから、自分の尻尾が云ふことを聞くやうにしました。マカコはオンサの尻尾をうんとたいてやりました。あんなにたいたきです。オンサを殺してしまひました。殺してしまふことを、ブラジル語で、*caer por matar* と云ひます。

それで、他のげだものたちがこのお伽話の木の實の名を聞きますと、チヤボチーは「チヤボチー、チヤボチー」と云ひました。これが、今、野に、山に實つてゐる、皆さんの大好きなチヤボチーカ、カ、カの名の由来です。

【オワリ】
(これは、ブラジルに昔から住んで居た、インジオのお話です)

「お、チヤボチー君、君は木に登ることを知らないだろ？ 僕に登らせなさい。そして、つかり木の實を採つてから、僕に木の實を採つたおだらんに少し分けておくれ」と云ひました。チヤボチーはその通りにさせました。悪がしこいオンサは袋に一杯木の實を、つめこむと、一つもチヤボチーにやらずに、袋をかついで一目散に逃げて行きました。チヤボチーはカンカンに怒つて、川のふちまで追ひかけて行きました。「お、オンサ、その袋をおくれよ、僕は君より泳ぎが上手なんだから」と云ふと、オンサは袋をチヤボチーに渡しました。

「お、チヤボチー君、君は木に登ることを知らないだろ？ 僕に登らせなさい。そして、つかり木の實を採つてから、僕に木の實を採つたおだらんに少し分けておくれ」と云ひました。チヤボチーはその通りにさせました。悪がしこいオンサは袋に一杯木の實を、つめこむと、一つもチヤボチーにやらずに、袋をかついで一目散に逃げて行きました。チヤボチーはカンカンに怒つて、川のふちまで追ひかけて行きました。「お、オンサ、その袋をおくれよ、僕は君より泳ぎが上手なんだから」と云ふと、オンサは袋をチヤボチーに渡しました。

「お、チヤボチー君、君は木に登ることを知らないだろ？ 僕に登らせなさい。そして、つかり木の實を採つてから、僕に木の實を採つたおだらんに少し分けておくれ」と云ひました。チヤボチーはその通りにさせました。悪がしこいオンサは袋に一杯木の實を、つめこむと、一つもチヤボチーにやらずに、袋をかついで一目散に逃げて行きました。チヤボチーはカンカンに怒つて、川のふちまで追ひかけて行きました。「お、オンサ、その袋をおくれよ、僕は君より泳ぎが上手なんだから」と云ふと、オンサは袋をチヤボチーに渡しました。

「お、チヤボチー君、君は木に登ることを知らないだろ？ 僕に登らせなさい。そして、つかり木の實を採つてから、僕に木の實を採つたおだらんに少し分けておくれ」と云ひました。チヤボチーはその通りにさせました。悪がしこいオンサは袋に一杯木の實を、つめこむと、一つもチヤボチーにやらずに、袋をかついで一目散に逃げて行きました。チヤボチーはカンカンに怒つて、川のふちまで追ひかけて行きました。「お、オンサ、その袋をおくれよ、僕は君より泳ぎが上手なんだから」と云ふと、オンサは袋をチヤボチーに渡しました。

「お、チヤボチー君、君は木に登ることを知らないだろ？ 僕に登らせなさい。そして、つかり木の實を採つてから、僕に木の實を採つたおだらんに少し分けておくれ」と云ひました。チヤボチーはその通りにさせました。悪がしこいオンサは袋に一杯木の實を、つめこむと、一つもチヤボチーにやらずに、袋をかついで一目散に逃げて行きました。チヤボチーはカンカンに怒つて、川のふちまで追ひかけて行きました。「お、オンサ、その袋をおくれよ、僕は君より泳ぎが上手なんだから」と云ふと、オンサは袋をチヤボチーに渡しました。

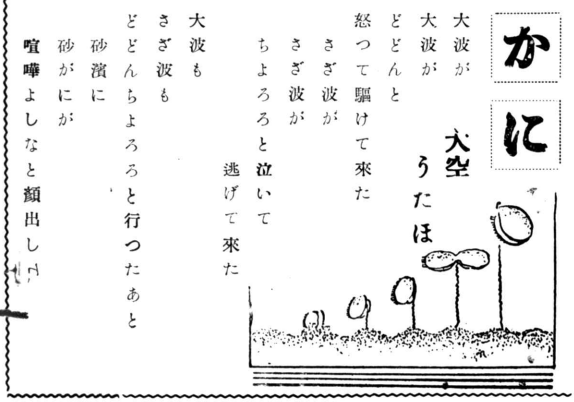
「お、チヤボチー君、君は木に登ることを知らないだろ？ 僕に登らせなさい。そして、つかり木の實を採つてから、僕に木の實を採つたおだらんに少し分けておくれ」と云ひました。チヤボチーはその通りにさせました。悪がしこいオンサは袋に一杯木の實を、つめこむと、一つもチヤボチーにやらずに、袋をかついで一目散に逃げて行きました。チヤボチーはカンカンに怒つて、川のふちまで追ひかけて行きました。「お、オンサ、その袋をおくれよ、僕は君より泳ぎが上手なんだから」と云ふと、オンサは袋をチヤボチーに渡しました。

「お、チヤボチー君、君は木に登ることを知らないだろ？ 僕に登らせなさい。そして、つかり木の實を採つてから、僕に木の實を採つたおだらんに少し分けておくれ」と云ひました。チヤボチーはその通りにさせました。悪がしこいオンサは袋に一杯木の實を、つめこむと、一つもチヤボチーにやらずに、袋をかついで一目散に逃げて行きました。チヤボチーはカンカンに怒つて、川のふちまで追ひかけて行きました。「お、オンサ、その袋をおくれよ、僕は君より泳ぎが上手なんだから」と云ふと、オンサは袋をチヤボチーに渡しました。

「お、チヤボチー君、君は木に登ることを知らないだろ？ 僕に登らせなさい。そして、つかり木の實を採つてから、僕に木の實を採つたおだらんに少し分けておくれ」と云ひました。チヤボチーはその通りにさせました。悪がしこいオンサは袋に一杯木の實を、つめこむと、一つもチヤボチーにやらずに、袋をかついで一目散に逃げて行きました。チヤボチーはカンカンに怒つて、川のふちまで追ひかけて行きました。「お、オンサ、その袋をおくれよ、僕は君より泳ぎが上手なんだから」と云ふと、オンサは袋をチヤボチーに渡しました。

「お、チヤボチー君、君は木に登ることを知らないだろ？ 僕に登らせなさい。そして、つかり木の實を採つてから、僕に木の實を採つたおだらんに少し分けておくれ」と云ひました。チヤボチーはその通りにさせました。悪がしこいオンサは袋に一杯木の實を、つめこむと、一つもチヤボチーにやらずに、袋をかついで一目散に逃げて行きました。チヤボチーはカンカンに怒つて、川のふちまで追ひかけて行きました。「お、オンサ、その袋をおくれよ、僕は君より泳ぎが上手なんだから」と云ふと、オンサは袋をチヤボチーに渡しました。

「お、チヤボチー君、君は木に登ることを知らないだろ？ 僕に登らせなさい。そして、つかり木の實を採つてから、僕に木の實を採つたおだらんに少し分けておくれ」と云ひました。チヤボチーはその通りにさせました。悪がしこいオンサは袋に一杯木の實を、つめこむと、一つもチヤボチーにやらずに、袋をかついで一目散に逃げて行きました。チヤボチーはカンカンに怒つて、川のふちまで追ひかけて行きました。「お、オンサ、その袋をおくれよ、僕は君より泳ぎが上手なんだから」と云ふと、オンサは袋をチヤボチーに渡しました。



大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは

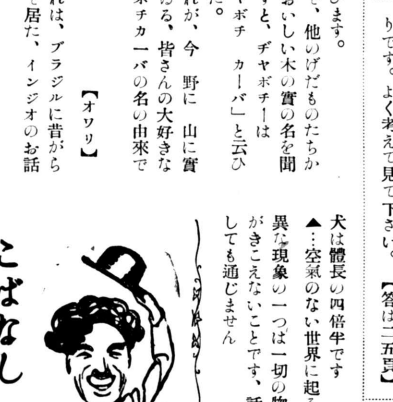
大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは

大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは

大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは

大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは

大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは



これは何でせう。皆さんが日常よく使ふ品物は、これです。よく考えて見て下さい。【答は二五頁】

犬は體長の四倍半です。空気の無い世界に起る奇異な現象の一つは、一切の物音がきこえないことです。話をしても通じません。

公式否定 教師「實社會の事は、公式通りに行かず、ニラス二が三にしろならなかつたりする實例をあげて見給へ」生徒「ハイ、御飯五杯とお汁を三杯食べて、腹一杯にしかりませぬ」貸家札 紙に「かしや」と書いて張つて置くと、いたづらな子供がちぎりに破つてしまふ。そこで考へた家主は、厚紙板に書いてしつかりと釘で打ち付けてしまつた。店主「これで、二、三年大丈夫だ」何から何迄 妻「長いこと、私が留守でさぞ寂しかったでしよ」うっかり女中を指して亭主「いや、コレが何から何まで善くやつてくれたのでネ……」

大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは

大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは

大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは

大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは

大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは

大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは

大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは

大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは

大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは

大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは

大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは

大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは 大波が 大空 うたは

<p>Grande Machina Beneficiar Arroz e Café DE GUENKA KOSUKE Campo Grande</p> <p>農産物 仲買 精米 珈琲 精撰工場</p> <p>源河 幸助</p> <p>麻州カンボ・グランデ市</p>	<p>内外雑貨 食料品 農産物 雜穀物類</p> <p>堀越 商店</p> <p>堀越 徳三郎 ノロエステ線アラサッパ市 郵便二〇八</p>	<p>謹賀新年</p> <p>Oficina de Concerto CAMPO GRANDE</p> <p>自動車修繕工場</p> <p>川野 嘉一</p> <p>麻州 カンボグランデ市</p>	<p>政岡 齒科醫院</p> <p>院長 政岡 昭實</p> <p>シルジョン・デンチスタ マリオ・アキノ・ピラール アラサッパ市ゼネラル・オゾーリヨ街</p>	<p>カンボ・グランデ 酒業組合</p> <p>専務理事 仲順仙吉 従業員一同</p> <p>麻州カンボ・グランデ市</p> <p>カーザ・プレゼンテ 赤嶺徳助</p> <p>麻州カンボ・グランデ市</p>	
<p>Oficina Aoyama ARACATUBA</p> <p>アラド メイアルーア ジスーコ トンパドール カルビデーラ 各種製造</p> <p>青山兄弟工場</p> <p>ノロエステ線アラサッパ市 郵便三〇〇</p>	<p>家具製作工場</p> <p>石井 照太</p> <p>R. 13 de Maio, 1082 - Matto Grosso 麻州カンボ・グランデ市</p>	<p>内外雑貨並にパール</p> <p>與那嶺 清光</p> <p>麻州カンボ・グランデ市</p>	<p>チンツラリヤ サンパウロ</p> <p>知花洗濯店 知花 幸信 電話一七七</p>	<p>宮平 旅館</p> <p>宮平 市榮</p> <p>麻州カンボ・グランデ市 郵便一七一</p>	<p>カンボ・グランデ 産業組合</p> <p>理事長 大城 武盛 主任 山城 興長 従業員一同</p> <p>麻州カンボ・グランデ市</p>
<p>カンボ・グランデ 産業組合</p> <p>麻州カンボ・グランデ市</p>	<p>CASA PARAIZO BAR E CORREIO Hikari Kan Iya - Campo Grande</p> <p>内外雑貨農産物仲買</p> <p>神谷 光</p> <p>麻州カンボ・グランデ市 電話一一六</p>	<p>BAR KING Campo Grande</p> <p>ビンガ醸造工場</p> <p>パール 安谷屋 亀</p> <p>麻州カンボ・グランデ市</p>	<p>Bar, Photo Katayama CAMPO GRANDE</p> <p>片山寫真館</p> <p>片山 日吉 麻州カンボ・グランデ市</p>	<p>Machina de Beneficiar ARROZ E CAFÉ Campo Grande</p> <p>精米珈琲 精撰工場 ビンガ醸造工場 農産物仲買</p> <p>中尾權四郎</p> <p>麻州カンボ・グランデ市</p>	
<p>共榮會</p> <p>伯國出張所</p> <p>平澤 孔明彦 横井 馨</p> <p>リオ市アベニダ・グラアラランニヤ三九A 電話 二二・〇五〇一 東京市京橋區寶町二丁目 株式會社清水組内</p> <p>出張所 タイ國 メキシコ</p>	<p>Tok Niwa Caixa Postal, 3867 - End. Tel. "TOZCN" Rio de Janeiro</p> <p>貿易業 森村商會代表者</p> <p>丹羽徳商店</p> <p>リオ・デ・ジャネイロ市</p>				

<p>CASA VERDE GUARARAPES</p> <p>▽ 果服太補店 エルクラノ・デ・ゴエス</p> <p>伊井榮次 棉花綫仲買業</p>	<p>Bar e Sorveteria ARAÇATUBA</p> <p>パール並にソルベツタリヤ 和洋菓子製造 内外果實一切</p> <p>小松商店</p> <p>アラサツバ市</p>	<p>年 新 賀 謹</p>	<p>CASA KIRIKI ARAÇATUBA</p> <p>内外雜貨農産物 桐木商店</p> <p>アラサツバ市</p>
--	---	-----------------------	--

<p>PHARMACIA CENTRAL ITINOSE & CIA. LTDA ARAÇATUBA</p> <p>内外藥品化粧品 豊富調劑正確 親切丁寧 迅速薄利多賣を モットーとして 業務致しなく 皆様の薬局とし て御利用の程を 御願致します</p> <p>中央薬局 宇ノ江 共營</p> <p>アラサツバ市 (元マヂアノ 薬局)</p>	<p>アラサツバ市</p> <p>伊津野 旅館 伊津野 末雄</p> <p>慶世村 旅館 慶世村 清教</p> <p>名嘉眞 旅館 名嘉眞 朝松</p> <p>前原 旅館 前原 榮太</p> <p>青木 旅館 青木 政雄</p> <p>鈴木 旅館</p>
---	---

<p>CASA NAKAMURA BIRIGUY</p> <p>雜貨商 中村商店 中村 忠吉 電話二一五 郵箱八五</p>	<p>HOTEL NAKAMURA BIRIGUY</p> <p>中村 旅館 中村 長次郎 電話二一五 郵箱八五</p>	<p>パール並にソルベツタリヤ 松谷 アラサツバ市本通り</p>	<p>Alfaiataria Hatamoto BIRIGUY</p> <p>ガジミラ仕立地 豊富 畑本洋服店 ビルグネ市 郵箱二二九</p>	<p>Hotel Kiraku</p> <p>カラカタツバ港市街地賣出代理人 喜樂旅館 井田 甚吉 ノロエステ線ソララベス市</p>	<p>會 商 上 ノ 瀨</p> <p>▽ 本店 △ ノロエステ線ソララベス市 農産物賣買 支配人 米田 一郎 棉花賣買 支店 △ 同線ソララベス市 精米精造工場 櫻井 嘉福 支店 △ 同線ソララベス市 農産物賣買 櫻井 嘉福 精米工場 櫻井 嘉福 ▽ フルダレイザ農園 同 同 從業員一同 同 貞永 三郎 同 瀨ノ上 保生</p>
---	---	---	---	--	---

<p>シンガミシシ並に 附屬品一切 代理店 米倉仙八 ノロエステ線ソララベス市</p>	<p>Alfaiataria Biriguy</p> <p>▽ 至 誠 △ 飯島 洋服店 坂本 洋服店 ビルグネ市公園前 郵箱五七</p>	<p>TATSUMA ITOW Cirurgião Dentista BILAC</p> <p>齒科醫 伊藤達馬 ビルグネ市ビルグネ市 郵箱四八</p>	<p>Alfaiataria kirata BIRIGUY</p> <p>平田洋服店 平田 佐八 ノロエステ線ビルグネ市</p>	<p>Hotel Yamamoto BIRIGUY</p> <p>山本旅館 山本 政義 ビルグネ市</p>	<p>サンパウロ市本店 店主 岩本 昌彦</p> <p>内外雜貨 卸小賣 岩本商店 ビルグネ市支店 店主 岩本 爲三 ▼ スタンダード石油會社代理店 ▲</p>
--	--	--	--	---	---

<p>BAR TRIANGULO BIRIGUY</p> <p>新鮮、美味な御食事を 是非御試食下さい</p> <p>パール並にペンソン 平田パール 平田 三男 ビルグネ市 ルア・ヂセンブロ二八八 電話 一三五</p>	<p>現業員 辰己 正勝 飯田 敏壽 平田 一雄 橋本 直文 荒 齊</p> <p>ライネロ・ムニス セソキスムンドラシヤキ</p> <p>ノロエステ線ビルグネ市 ノロエステ線ソララベス市</p> <p>パネーラ商會社 精珈 精米部 農産物賣買部 雜貨日用品販賣部 組合員一同 電話 四十八番 電話 五番</p> <p>昨年中は非常なる御後援御引立下さり誠に有難く 深謝奉候 向本年はマキナ及アルメン共各現業員誠心誠意 業務に従事仕候間倍舊の御取引賜度新年の御祝辭 と共に懇願奉候 敬具</p>
---	---



落首賣り 桂文治

以前は試し斬りなどといふ物騒なことがございまして、お武家様が新しい刀などをお買ひになると、一寸切れ味を試して見たい、或ひはまた大分このごろ腕前が上達したしたが、人を斬つて見なれば實際の腕前は分らん、などといつて怪しからん話ですが昔はさういふことが随分ありました。

そのころ番町邊は旗本屋敷の多かつた處で、千石以上になると、お物見といふ物を許されました。ある殿様が、御家來をお連れになつて、お物見へ上り、物めづらしさうに往來を見てお在になると、向ふから風る敷包み背負つた男が何か怒りながら参りました。

殿「コレ、三太夫、あれ参る者が、首やぐと申してゐる、不思議な様業があるものぢやな」
三「イヤ、それは上のお間違ひでございませう、首や首でございませう、栗や栗でも申してゐるのでございませう」
殿「イヤ今頃栗など賣歩くべき筈はない、確に首や首と申してゐる、どういふわけか一應取らして参れ」
三「委細承知仕りました」
殿「成べく急いで参るやう」
三「長りました」
お物見を下りながら三太夫が

三「冗談いつちやアいけぬ馬鹿々々しい、誰か世の中に二つない首を商ふ奴があるものか」
と、アツ／＼いひながら、御通門のところへ来て待つてゐると
三「なるほど、私にも首と聞えるぞ……コレ、コレ」

参る商人……町人
○「ヘイ、お呼びでございませうか」
三「汝は何を商つてゐる、何を申して歩いてゐるのだ」
○「ヘイ私でございませう、首や首と申してをりますのでヘイ」
三「首や首を賣るのか」
○「ヘイ、左様でございませう、どうか價を能くお求めを願ひ度うございませう」
三「ハ、ア面白い商人があるものだ、實はお上のお目に留まつて、どういふ譯か取らして参れよとの仰せであるから次第によつたらお求めのなるかも知れぬ、兎に角私と一緒に御門の中へ入れ」
○「どうか一つお求めを願ひ度うございませう」
三「サアこつちへ來い……暫らくこれに待つてゐるよ、只今申上げるから」
○「ヘイ、成だけお早く願ひ度うございませう」
三「エ、恐れながら申上げませう」
殿「どうぢや三太夫」
三「仰せの如く、首を商ひまする商人にございませう」
殿「さうであらうな、確かに首は首や首と聞いた、どういふ譯で首を商ふか、ただし見せたか」
三「それはまたたしませんでございませう」
殿「左様か、然らば斯様いたさう、庭前へ通せ、予が自身に取調べて見よう」
三「委細承知いたしましてございませう」
三太夫が再び出て参りました
三「イヤ町人、大きに待遠であつたな」
○「ヘイ……エ、どういふ事になりましてございませう」
三「只今お上へ申上げたところ

ろが、どういふわけが首を商ふのか、一應取らして見たいと仰しやる、私と一緒に御前へ廻れ」
○「ヘイ左様でございませうか、ヘイ、お連れを願ひ度う存じます」
三「コレ、その風る敷包みをおれへ置いて参れ」
○「イヤ、これは放せません品物でございませう」
三「オ、左様か、然らば持参しても宜しい、サア、此方へ参れ」
○「これはお廣うございませう、ただ今入りました御門は何でございませうか、人が入るとすぐに締るんで」

譯もございませぬ、首を賣りますんでございませう
殿「ハハア、首を賣らうと覺悟するまでは、何か考へがあるのであらう、どういふ處から首を賣らうといふ氣になつたのだ」
○「左様でございませう、殿様の前でございませうが、私の首は、帯に短し、褌に長しといふ中途半端の首なのでございませう」
殿「變な事を申す奴ぢやな帯に短し褌に長しとはどういふ譯だ」
○「ヘイ、男振でございませう、モウ些と好けりやア役者になりますし、悪けりやア悪いでございませう」
殿「其方に金を遣つてどうするのだ」
○「イヤどうも斯うもございませぬ、手前が頂きまして、胸巻へ入れた、サアと腹へ結びつけたらうございませう、マア殿様の前でございませう、先づ死ねば極楽へ行くとか地獄へ行くとか、何方かに極つてをります、私なんぞはとも極楽へ行けりやアございませぬ、マア差語私の地獄へ行きまして、どういふ地獄の沙汰も金次第と申して、金があれば幾らか鬼も優しくして呉れるだらうと思ひます。また籠り間違つて極楽へ行つたらうございませぬ、阿彌陀も金で光る世の中といひますから、何方にしても人間金を持つてゐるけりやアだめでございませう」
殿「な、面白く事を申す奴ぢやな、三太夫、然らば直ぐに金を遣はせ」
三「畏りました、……サア七分、お下け金になるぞ、有難く頂戴します」
○「ヘイ、どうも有難う存じます、前金に頂きまして申譯がございませぬ、殿さま、かういふ工合に金をスツカリ調巻へ藏ひまして、ビツカリ腹へ押つけて置きます。ヘッヘッヘ、是で宜しうございませう」



三「イヤ御制限まで聞いてゐるのだ」
○「左様ですか……結構なお庭ですな」
三「その庭の上に坐つて待つてをれ、ただ今上がお出ましになる」
殿「コレ、三太夫、この町人が首を商ふのは」
三「御意の通りでございませう」
殿「コレ町人、即答を許すぞその方何か、どういふ譯で首を商ふのだ」
○「ヘイ、これは殿様でございませう、お初にお目に掛ります、どういふ譯もかういふ

ひます。ア、つまらねえとかう思ひまして、首を賣る氣になつたでございませう」
殿「ウム、して見れば其方は何だ、世の中を悲観して首を賣る氣になつたのだな」
○「イヤ四貫ちや賣れませんでございませう」
殿「イヤ鳥目のことを申すのではない、一體幾らでその首を商ふのだ」
○「十兩二分でございませう」
殿「ウム、首代七兩二分といふ事を申すなら、それで七兩二分で商ふのか、金子は何處へ下遣はせば宜しいぢや」
○「お金でございませうか、ヘッヘッ、今私前金に頂戴いたしました」
殿「其方に金を遣つてどうするのだ」
○「イヤどうも斯うもございませぬ、手前が頂きまして、胸巻へ入れた、サアと腹へ結びつけたらうございませう、マア殿様の前でございませう、先づ死ねば極楽へ行くとか地獄へ行くとか、何方かに極つてをります、私なんぞはとも極楽へ行けりやアございませぬ、マア差語私の地獄へ行きまして、どういふ地獄の沙汰も金次第と申して、金があれば幾らか鬼も優しくして呉れるだらうと思ひます。また籠り間違つて極楽へ行つたらうございませぬ、阿彌陀も金で光る世の中といひますから、何方にしても人間金を持つてゐるけりやアだめでございませう」
殿「な、面白く事を申す奴ぢやな、三太夫、然らば直ぐに金を遣はせ」
三「畏りました、……サア七分、お下け金になるぞ、有難く頂戴します」
○「ヘイ、どうも有難う存じます、前金に頂きまして申譯がございませぬ、殿さま、かういふ工合に金をスツカリ調巻へ藏ひまして、ビツカリ腹へ押つけて置きます。ヘッヘッヘ、是で宜しうございませう」

ます」
殿「それで宜いか、其方の死骸、何れへ下げ渡して宜いのぢや」
○「死骸でございませうか、それは自分で引取つて参ります」
殿「ハ、ア、此奴氣が狂うてをるのぢやな、三太夫、さもなければ首を商ふなどといふ事があるものではない、何か遺言はないか」
○「ヘイ、モウ遺言も何もございませぬ、親もなけりやア子もございませぬ」
殿「ハア、氣樂なもぢやな過日求めた新刀を持参いたせ試して見たいと思つてゐた處である、金佛か題目でも唱へたら宜からう」
○「イヤモウ斯うなつたらにやア、金佛にも題目にも及ませぬ、どうぞ成だけお早く願ひ申し度うございませう」
殿「まはお羽織をお脱捨になりまして、袴のお袴袴の股立を高く取上げて、白帯物を片手に提げ、お庭下駄をおはきになつて、ブーツとお庭へお下りになり、番手桶へ水を十分に汲ませ、一刀をサアお抜きになりまして、サアは御家來へ渡し、露際から鉈子先まで水をサアと掛けさせ、ビュッ、一つ水振ひをして、彼の首賣の後へ廻りました」
○「エ、少々お待ちなすつて下さいませ、只今後れ毛もすつかりかき上げて、切損じのないやうにして差上げますから……サアおやんすつて下さいませ」
殿「よいか、ヤツ」
と聲をかけて切下すのを、ヒラリ體をおはしたかと思ふと、傍にある風る敷包みから張子の首を一つ取り出して、パツと逃出した。
殿「コレ、首屋々々、これは張子の首ではないか、汝の首を置いて行かんか」
○「ヘイ、是は看板でございませう」

あけましておめでとう

うたでめおてしまけあ

1941



旦那さま

ワカナ

旦那さまの位もこの位も... 旦那さまが、今度来た女中... 旦那さまが、今度来た女中... 旦那さまが、今度来た女中...

旦那さまの位もこの位も... 旦那さまが、今度来た女中... 旦那さまが、今度来た女中...

旦那さまの位もこの位も... 旦那さまが、今度来た女中... 旦那さまが、今度来た女中...

試験眼録

一、突如ドイツの北極電撃戦... 二、(タンネンハイザー)の指揮者として一世を風靡した晋...

旦那さまの位もこの位も... 旦那さまが、今度来た女中... 旦那さまが、今度来た女中...

旦那さまの位もこの位も... 旦那さまが、今度来た女中... 旦那さまが、今度来た女中...

旦那さまの位もこの位も... 旦那さまが、今度来た女中... 旦那さまが、今度来た女中...

年新賀謹

梅野洋服店
梅野久雄

ビリグホ市アラツサ・ラ
ウル・カドース一六五

食料品内外雑貨
小間物商

青木均

ビリグホ市郵箱二二

要原自然科学研究所
リンス郡役所嘱託測量技師
伯國公認測量師

瀧田森義

事務所 リンス市アネンテゴメス
リバー口街三〇

味噌、醤油

ヤマキ印醬油醸造所

鈴木 豊

リンス市 郵箱二〇三

御宿はキングホテル

中熊一雄

リンス市

雑貨、反物、小間物類

カーザ・ヤマネ

山根保夫

ビリグホ市アラツサ

家賃の設備、入学期は隨意

丸野洋裁學院

教師 丸野トエ

生徒 一同

パウロ市モンセニョールクラーク街

パールパウリスタ

石橋竹次

パウロ市パチスタ・デ・カルパリヨ街

皆様の御氣に召すサ・ビス……

パール、ソルベツタリア

伊福義高

パウロ市パチスタ・デ・カルパリヨ街
電話 一八八

△仕事は丁寧 △仕事はスマート

橋本洋服店

橋本 外次郎

パウロ市パチスタ・デ・カルパリヨ街二一四

入學隨意規則書御希望の方に進呈

公認ビラツキ裁縫女學校

林勝代 林文子 林八代子

ビリグホ市アラツサ 郵箱四八

武部支店

ビリグホ市アラツサ 郵箱三〇八

電話五番

百貨部

パール兼ペンシ

公認裁縫教師 桑田米吉

ビラツキ 枝

ノロエステ線リンス市アラツサ

内外雑貨卸小賣商及農産物仲買商

平見小太郎

同 村夫

ノロエステ線リンス市アラツサ

郵箱五七

衛生的 (御旅館、理髮店)

幸地仁榮

ノロエステ線リンス市アラツサ

ガジミラ、プリン豊富に取揃へてあります

御用命の程を……

ライオン洋服店

平田庄太

ヘリス市(イトホン)寫眞館前

和洋製菓

寫眞部

ソルベツタリア

富士見屋

本店 ノロエステ線アラツサ

支店 リンス市ルイス

ガイヤ街三九八

電話一八六郵箱二〇三

(青年會館上側)

プロミツソン町

商業俱樂部

フオード代理店、雜貨商

電話三五番 郵箱一八

雜貨商、農産物仲買商

西岡商店 電話九〇番

ソルベツタリア

イロハ旅館

堀井兼一

フオット・アウローラ

大橋寫眞館

寫眞機及材料販賣

龜井寫眞館

電話八七番

雜貨商、農産物仲買商

當山商店

電話八五番

雜貨商、農産物仲買商

土屋商店

電話五三番

雜貨商、農産物仲買商

中須賀商店

電話二一郵箱三一

オリンピック製菓所

電話六二郵箱五五

パールセントラル

青木均

電話三四郵箱四

雜貨商、農産物仲買商

平田商店

電話一二郵箱四七

パール、鮮魚店

電話一二郵箱四七

カイヤ街三九八

ノロエステ代理店

間崎三三

農産物仲買商

立石正人 電話一九

百貨商 有限責任

日伯商會

ビリグホ市アラツサ 電話四八

郵箱四八

農産物仲買

珈琲精撰工場

精米工場

小野原定七

ビリグホ市アラツサ

運搬部

電話三三

郵箱三〇四

黒島醬油醸造元

黒島伊平治

ノロエステ線アラツサ

町

電話九

郵箱一三

マキナアリアンサ

プロミツソン町

電話九

郵箱一三

前田兼作

大門鐵三郎

宮崎茂松

日乃日乃華

醸造元

瀬戸徳寧

ノロエステ線アラツサ

町

電話五五

年 新 賀 謹

ミシンの御用命は當店に
ミシン修繕並びに買戻店
店主 **原 十九男**
リンス市セツテ・デ・セツ
タンプロ三八(本通り)
家具古物商 福田 保
リンス市セツテ・デ・セツ
リンス市セツテ・デ・セツ
テンゾロ街三八(本通り)

書籍雑誌學用品一切
ニッポン書店
武井 誠
リンス市

兼頭電氣工作所
兼頭 善四郎
パール東京
兼頭 京市
リンス市

齒科 醫
清水 安丸
プロミツソン町

コロンビア、ビクター特約店
貴金屬 時計 蓄音機 レコード
店主 **志方 重雄**
井上 政 敬
八巻 市 三
リンス市

安東商會
パラマンサ農場
ノロエステ線プロミツソン町郵箱二二七

みよし旅館
鈴木 みよし
リンス市ルイスガマ街
シホマ館隣
郵箱二〇三

寫真引伸會
熊坂寫真館
松 熊 坂
澤 坂 久
リンス市 男 助

各種自動車用アコム
ラドリル並ラヂヤド
機特價二五〇針レ
ス(各種電池あり)
パールだるま屋
内田 直治郎
リンス裁判所直前

- リンス市 商工組合**
- 雜貨商 本田 授
 - 同 權藤 五月
 - 同 青木 祐雄
 - 同 濱崎 末次
 - 同 原 實藏
 - 同 寶山 輝吉
 - 同 中村 孝
 - 同 田中 庄助
 - 同 下矢治三郎
 - 同 藤倉 二郎
 - 製菓所 高橋 増造
 - 旅館組合 相原 龍平
 - 藥 局 森部 一衛
 - 小山 實造
 - 中山 信一
 - 助員 今田 求
 - 是非一度は御立寄り下さい

木村運動具店
リンス市
郵箱二〇三

海山堂 製菓工場
石切山角一
バウル市
電話七〇八

鈴木季造
ノロエステ線プロミツソン町
郵箱二五

土地周旋 人爭相談
代辯業 御旅館

バウル市
商工組合

伊集院兼曹 芳賀 仁吉
丸井 富田 光
沖山 心平
加來 普一

ミシンの御用命は當店に
ミシン修繕並びに買戻店
店主 **原 十九男**
リンス市セツテ・デ・セツ
タンプロ三八(本通り)

Oficina Nipônica
FABRICA DE O NIBUS
K. TAKAHASHI

乘合自動車製造

高橋鐵工場
高橋 倉吉
従業員一同

リンス市

Mazaki & Iyda Ltda.
FROMISSÃO

飯間 **棉花工場**
間崎 三三
飯田 彦光
プロミツソン町
電話三一 郵箱七一

BAR E PASTELARIA OGAMA
PAURU

近代的設備
美味しいパステスの味
皆様の御来召を……

パール大釜

本店 電話 七二一
自宅電話 七二〇

支店 巴ウル市驛前角

ホテル平旅館
ペンナボリス市
電話一〇一一

丸井旅館
丸井正章
ペンナボリス市
電話一〇一四
郵便一〇一四

謹賀新年

食料品一切
雑貨雜貨類
パール久保田
久保田兄弟商店
ノロ線ペンナボリス市
電話一二〇

スタンダード石油會社代理店
出森商店
ペンナボリス市
電話一三三四
郵便一〇一一

ANZE
支店
バルバライン町
精米支店
ルツサンツイラ
第一チエテ市街地

安瀨商會

支店 アラサツーパ市
電話54 郵便300
事務所 精米所
珈琲倉庫 棉花仲買
支店 アグアリンバ區
内外雜貨部・食料品
販賣 珈琲精糖
フバ工場

Hotel da Estação
ホテル エスタシオン
下山政行
ペンナボリス駅前 電話167 郵便101

アラサツーパー
製糖所
伊藤商店
出利菓商店
中央藥局
一ノ瀬宇江
合同藥局
精米所
大原商會
鐵工所
餘越鐵工所
雜貨商
武部商店
ホテル
松本長重郎
精米所
安瀨商會
旅館
平井八十衛
雜貨商
荳山商店

ブラウーナ
ノロ線グリセリヨ
ノロ線ペンナボリス市
電話二〇一八

玩具類、陶器類
文房具類、化粧品
バザール原
ノロ線アラサツーパー市
電話二〇一八

Hotel Avenida
ARACATUBA
ノロ線アラサツーパー市
電話二〇一八

梶本洋服店
アラサツーパー市本通り
アラサツーパー市本通り

ブラウーナ
ノロ線アラサツーパー市
電話二〇一八

ミランダポリス
（イロハ順）
バス力職 本坊重徳
ペンナボリス市 西村豊
ペンナボリス市 中村マリア
ペンナボリス市 長尾義雄
ペンナボリス市 吉村マリア
ペンナボリス市 山田吉吉
ペンナボリス市 中山吉吉
ペンナボリス市 小原吉吉
ペンナボリス市 大原吉吉
ペンナボリス市 長尾義雄
ペンナボリス市 吉村マリア
ペンナボリス市 山田吉吉
ペンナボリス市 中山吉吉
ペンナボリス市 小原吉吉
ペンナボリス市 大原吉吉

ミランダポリス
（イロハ順）
バス力職 本坊重徳
ペンナボリス市 西村豊
ペンナボリス市 中村マリア
ペンナボリス市 長尾義雄
ペンナボリス市 吉村マリア
ペンナボリス市 山田吉吉
ペンナボリス市 中山吉吉
ペンナボリス市 小原吉吉
ペンナボリス市 大原吉吉

カフエランヂヤ
齒科醫
伊勢屋旅館
内外雜貨商
東京寫真館
同
醬油醸造業
内外雜貨商
製菓商
月見屋旅館
藥局

持たぬ國を輕べつする

金持心理の招く危機

日獨伊軍

事協定

米國

カリメアるほ

日獨伊軍 協定成立の飛 報を手にした

そのもの上に、ほとんど名 状すべからざる變化を與へ、

富強世界に對する自負 するアメリカが、一舉にして

九地の低きに墮落し、また再 び起つ能はざるがごとき悲劇

を醸生しないといへぬ 底の知れない自徳根性に魅

入られたとでもいふか、何事 にも無反省で、唯我獨尊で、

強がり屋で、しかも正義の一 手販賣元のやうな面をして、

何事にも一言差出口をして、 知らずの坊つちやんだ。が

から火が出る思ひをして見な ければ、この世の中が實際に

なぜアメリカ

カは騒ぐか

三國協定の條文だけ見ると どこにもアメリカといふ文字

は出て来ない。だが、その 協定は、明白にソウイット

邦に何等の効果を及ぼさな いと斷つてあるのだから、

その協定の内容が指示する第三 國は、結局アメリカだといふ

ことになつて来る。さすれば 日獨伊三國の軍事同盟は、

當然アメリカを唯一の對象と して成立したといふことにな

るが、アメリカ建國以來の歴 史において、それは果して如

いなる意義を有つてあらうか 建國以來百六十年、アメリ

カはアメリカだ、曾て他國を 對象とする軍事同盟に参加し

お自慢にな

らぬ常勝軍

アメリカは未だかつて敗け たことがないといふ。冷戦

がまだ苦勞知らずのお坊つち やんであらうとならうと、

もはやさういふことにはかた がつてゐる。現在唯今のアメ

リカにおいてはどうかであるか 舊世界の代表的指導勢力たる

日獨伊の三大強國とする軍事同 盟を結成し、事と成行の如何

によつては、あへてこれを敵 とするも憚らずといふ態度を

示したのだ！ 善かれ悪かれ、アメリカ建

國の精神は、アメリカをして 今日富強を致らしめた原因

のすべてであつた、といへ ないまでも、その最も根本的

お自慢にな

らぬ常勝軍

アメリカは未だかつて敗け たことがないといふ。冷戦

がまだ苦勞知らずのお坊つち やんであらうとならうと、

もはやさういふことにはかた がつてゐる。現在唯今のアメ

リカにおいてはどうかであるか 舊世界の代表的指導勢力たる

日獨伊の三大強國とする軍事同 盟を結成し、事と成行の如何

によつては、あへてこれを敵 とするも憚らずといふ態度を

示したのだ！ 善かれ悪かれ、アメリカ建

國の精神は、アメリカをして 今日富強を致らしめた原因

のすべてであつた、といへ ないまでも、その最も根本的

貧しさを侮

る金持根性

だがしかし、アメリカ人中 の或る者が、たしかに日獨伊

の或る者が、たしかに日獨伊の三 國を敵手として戦ふ、優

にこれを撃破し得るものと 考へてゐる以上、いかに彼等

の痛處を侮れむとしても、吾 人は一應これらの心境を覗き

何ゆゑ彼等がしかく考へ、何 故彼等がしかく信じてゐる

か、その實際的根拠について 吾人は出来るだけ正しい見透

しをつけて置く必要がある。 彼等は元來商人上りのこと

だから、萬事が物質萬能で、 いついかなる場合でも、決し

て富の事を忘れない。従つ て彼等は思ふ、『日獨伊の三

菓子製造卸小賣

仙台屋菓子店

飯淵重次郎

バストス市街地 郵三七〇

靴類旅装具

角藤光雄

バストス市街地 郵二七

謹賀新年

松本高信

バストス市街地

自治準備事務所

五十嵐常八

バストス市街地 郵一四一

チンツラリヤ・バストス

上原光徳

バストス市街地 郵一一六

内外雜貨食料品

田川壽雄

バストス市街地 郵三六

小間物寫真材料

中川正一夫

バストス市街地 郵三二二

南米銀行
バストス支店

波部勳

バストス市街地

松垣洋服店

バストス市街地 郵 四六五

棉プランタ機

日の丸印農具製作

石橋農具研究所

石橋長兒

従業員一同

バストス市街地 郵二〇六

CHOJI ISHIBASHI
BASTOS
Linha Sorocabana

バストス製糸工場

バストス市街地 郵三九

高級ホテル

中央旅館

館主 榎 常 孝
バストス市街地 郵南 一〇二
電話 一〇二

農産物棉花仲買
内外雜貨

岡本兄弟商會

バストス市街地 郵南 四四
電話 二二

製材煉瓦工場
土木建築請負
家具農具作製

佐藤福太郎

従業員一同

バストス市街地 郵南 一五二
電話 一〇〇

池田ホテル

池田正雄

バストス市街地 郵南 一三〇
電話 一三〇

ランシヤリア商工會

ブラジル隨一を誇る棉作地及工業地帯
に活躍するランシヤリア市市會員...

- 齒科醫院 郵三二
- 伊藤末造 郵五四
- 伊藤新吾 郵六一
- 飯田巨 郵六一
- 長谷部三義 郵一四一
- 橋永力蔵 郵一四五
- 豊藤龜太郎 郵八〇
- 茶屋伯男 郵七〇
- 岡田幸廣 郵五四
- 洋服店 郵五二
- 大山甚左衛門 郵五四
- 金子順介 郵一五〇
- 高田末松 郵一五〇
- 段村政七 郵一五〇
- 藤力旅館 郵一五〇
- 中村政信 郵一五〇
- 宇佐美信一郎 郵一七
- パールソルベツタリヤ 郵一五〇
- 能丸浩二 郵一五〇
- 具志隆用善 郵一五〇
- 江崎龜次郎 郵一五〇
- 澤田俊郎 郵一五〇
- 齊藤義治 郵一五〇
- 志鶴重義 郵一五〇
- 平賀正法 郵一五〇
- 鈴木盛造 郵一五〇

祝佛事御菓子
御注文に應じます
和洋菓子御小賣
東洋堂製菓所
嵯峨 三男
バスターズ市街地

織田 守男
バスターズ市街地

謹賀新年

溝部 幾太
バスターズ市街地

上間善次
ソ線バスターズ市街地
郵便一八七

バナナ地方土地代理人
古川 旅館
古川 九十九
ソ線オウリンニヨス驛
ルア・アントニオ・グラーデ一〇六

チンツラリヤ
インテルナショナル
直 榮 里 椿
ソ線オウリンニヨス驛
ルア・バナナ三三八二

バンク ロテリコ
パウル 古川
古川 九十九
ソ線オウリンニヨス驛
ルア・アントニオ・グラーデ一〇六

清水 佐吉
ソ線サンタクルス・ド・リオバルド驛
コンセレーロ・ダ・ダグダス街 郵便一四

中央薬局
藥劑師 **相澤 盛光**
サンタクルス・ド・リオバルド市
コンセレーロ・ダ・ダグダス街
電話四八五

落野 長
バール・ペンソン
バスターズ市街地
郵便四九

製菓店
三野 善一
バスターズ市街地
郵便二八二

内外雑貨
アンダソン棉花曾社代理人
齋藤 商店
サンタクルス・ド・リオバルド市

内外雑貨
齊藤 商店
サンベードロ・ド・ツルボ町

パール並旅館
上野寫真館
ソ線サンタクルス・ド・リオバルド市
コンセレーロ・ダ・ダグダス街五二七

パール並旅館
太洋ホテル
桑原 武一
サンタクルス・ド・リオバルド市
電話四一

マルチノボリス商工組合
旅 電話四〇 郵便一〇九
今川 梅野
今村 製菓所
大田 武雄
村上 伯夫
柳田 常次郎
前谷 商店
古丸 藤五郎
三田 商店
光岡 博一
末永 光
石井 正
電話一五九
郵便一〇九
電話一五九
郵便一〇九

バスターズ産業組合
Cooperativa Agricola de Bastos
Caixa Postal, 42
Agencia Bastos
E. F. S.

総務部
信用部
購買部
精製工場
精米珈琲精撰工場
製粉精油工場
醫療部

パラグアスー日本人會

棉花仲買、運搬業、貸自動車
ポストガソリン
桑原 一 二二
洋服店 郵一〇二七
田崎 徳松 郵一三三六
桑原 秀吉 電話一〇 郵PK
橋本 商店 郵四四四
内外雑貨
平川 商店 郵二二
榎野上 商店 郵一五二
佐藤 商店 郵二一五
稲益 商店 郵四四四
丸石 鐵工場 郵良治

丸林 繁太 電話三二 郵九二二
吉澤 信治 郵九六六
丸林 繁太 電話三二 郵九二二
吉澤 信治 郵九六六

丸林 繁太 電話三二 郵九二二
吉澤 信治 郵九六六

丸林 繁太 電話三二 郵九二二
吉澤 信治 郵九六六

冷水療法 四十三年

産業のブラジル 八木橋豊

私(さ)の(こ)の(り) (な) (か) (の) (こ) (の) (り)

事、私の歴史より数年間少い事判つた。では私の方が老より冷水は先だ。...



馬鈴薯の花

赤木 一平

馬鈴薯の花は、丘は、さうと暮れの色は、妻の聲に、...

此(こ)の(こ)の(り)

此(こ)の(こ)の(り) (じ) (の) (こ) (の) (り) (じ) (の) (こ) (の) (り) (じ) (の) (こ) (の) (り)...

私(さ)の(こ)の(り)

私(さ)の(こ)の(り) (さ) (の) (こ) (の) (り) (さ) (の) (こ) (の) (り) (さ) (の) (こ) (の) (り)...

仕(し)の(こ)の(り)

仕(し)の(こ)の(り) (し) (の) (こ) (の) (り) (し) (の) (こ) (の) (り) (し) (の) (こ) (の) (り)...

私(さ)の(こ)の(り)

私(さ)の(こ)の(り) (さ) (の) (こ) (の) (り) (さ) (の) (こ) (の) (り) (さ) (の) (こ) (の) (り)...

五(ご)十(じゅう)年(ねん)

五(ご)十(じゅう)年(ねん) (ご) (じゅう) (ねん) (ご) (じゅう) (ねん) (ご) (じゅう) (ねん)...

人(に)生(せい)

人(に)生(せい) (に) (せい) (に) (せい) (に) (せい) (に) (せい) (に) (せい)...



小話

公式否定

教師「貴社の事は、公式通りに行かず、二プラス二が三にしかならずたりする。...

貸家札

紙に「かしや」と書いて張つて置くと、いたづらな子供が書きに破つてしまふ。...

何から何迄

妻「長いこと、私が留守でさぞ寂しかったでしょう。...

X50

兄「この顕微鏡は、なんでも五十倍に見えるのだ。...

うはア!!

子供「お父ちゃん、僕なんにもしないのに、先生とても怒つたんだよ。...

蛇

A「僕、昨夜君に畫像おこられた夢を見たよ。...

(二十一頁より續く)

うには戦はうにも戦へなく
なつて来るであらう。それに
比べると、アメリカは金持
でもあり、物資も山のやう
にある。昔の語にあるタウ
ソスの富といへども、到底
アメリカにはおまじまい。し
て見ると、戦争が五年や十
年つづくと、アメリカは減
多にびくともするものぢや
ない。先き様では國內が乾上
つても、國民の食料もない、
戦争に必要な物資も乾上つ
て、果敢に食料の爲體で
あるに、こちらは金も物資
もふんだんにあるし、物資は
何から何まで自給自足して、
はあまりあるといふ有様だ
としたり、いくら腕の強
いやくさずとも、結局まで
しまふより外はあるまい。大
分限るアメリカに對して、
輕々しく腕立てをするなど
いふことは、頭から身のほど
知らずたといはなければなら
ぬ。

彼等はまたかういふ風にも
考へるに相違ない。『日獨伊
の三ヶ國は、薄々自分らの
弱點にも気がつてゐるから
出来るだけ急戦に出、一
刻も早くアメリカを叩きつけ
よう』と焦るかも知れない
が、こちらにはこちらの思惑
があり、容易にさういふ甘
手に乗るものではない。幸ひ
にも、アメリカの巨大な國土
は、大西洋の三千海里を隔
てヨーロッパに對しては日
本に對してゐる。彼等の有
する陸軍が、いくら強いつ
つて威張つて見たところで、
底吾人の國土を襲ふことは出
來ぬ。ドイツの有する厄介者
の空軍にしても、一衣帯水の
英國に對しては有効であら
うが、いかにして大西洋を飛
り得るかといふ手段を見出し
えない限り、それはアメリカ
にとつて極く些細な脅威にも
値しない。アメリカは不敗の
戰略的地位を占めてゐる。か
かる地位を占めてゐるから

りを取り上げて、それをでき
るだけ自分に都合よく纏め
るだけ、たしかに以上の結
論も生れて來るであらう。だ
が、實際の戦争といふものは
さう自分に都合よく進展
するものではない。ノックス
海軍長官や、ヤーネル提督な
ど、底の底に潜んで、さうい
ふ根柢に魅入られて、さうい
ふ一分相大となり、まともに
自分の足許を見分けること
ができなかつたのである。も
し彼等が本當に以上のやうな
妄想を抱き、心からそれを信
じて疑はないのであるとした
ら、彼等は世にもまれな樂天家
であるかも知れない。試みに
試みて見よ。彼等は

富の力を信じて、貧乏人と
分限るが、彼等は、必ず分限
るが勝つとも思つてゐる。か
も知れないが、世界五年間の
歴史は、かへつてその逆を語
つてゐるのみならず、眼前の
獨英戦争においても、貧乏な
ドイツが「明かに金持の英國
を壓迫し、彼をして殆ど瀕死
の苦境にあがしめてゐるで
ある。いかに、いかに長期戦
においては、一見アメリカの
有利な地位に立つたかやう
であるが、それも實際の事理
に通ぜざる意見で、當時の日
獨伊三ヶ國が、現実に立つた
獨英戦争の如何に宏大無邊で
あるかを固くした議論である
から、まづたく一顧の値打もな
い。ノックス海軍長官よ、
アメリカの有する物資が如何
に豊富であるか、まさかアジヤ、
ヨーロッパ、アフリカ、およ
び大洋洲の或る部分の合併した
物資の總額をしのぐとはいへ
ない。日獨伊の三ヶ國は、優
にそれらの地域における物資
を支配し、それによつて戦争
を繼續することができると考
へてゐる。アメリカが余り甘く考
へ過ぎてゐたら、アメリカの
心臓部ともいふべき東海岸一
帯はいついかなる災厄によつ
て見舞はれるかも知れない。さ
すれば太平洋におけるアメリ

カ艦隊は、進んで日本に攻
め寄せ、進んで日本に攻め
寄せ、進んで日本に攻め寄せ
て、退いて大西洋を求めて
は、ゆるゆる退却の窮地に陥
つて、言葉通りきりぎり舞ひ
の醜態を演ずることになるか
とて、その時、アメリカは果
してどうするか

樂天家のアメリカ人中には
自分の方を出るだけ都合よ
く考へると同時に、その相手
方を出るだけ都合悪く考へ
て、長期にわたる慢性的封
鎖を繼續しようと、ありあ
まる金と物資とに恵まれて
るアメリカは、夢にも内部的
崩壊の危険に脅かされること
はないが、貧乏な日獨伊三
ヶ國は、戦争が長くつ
づけばつづけば、その内部
の弱點が擴大する一方、終
にはみづから土崩瓦解するや
うな羽目に逢つてゐるであら
う。この點が、いかに、いかに
考へてゐるにも、いかに考へ
てゐるにも、いかに考へても
た途程のない思ひ違ひである
アメリカの基礎を形作つて
ゐる巨大な産業組織は、い
はアメリカの生命ともいふべ
きもので、もしそれが一朝に
して崩壊するやうなことがある
と、アメリカがそれ自身の存
在が危うなつて來る。しか
ら、日獨伊の三ヶ國を敵手と
して戦へば、その當然の歸結
として、アメリカは即時その
市場の大部分を失つる幾倍
を必要とするが、その市場の
大部分を失つた後、アメリ
カの巨大な産業組織は、よく
であらうか。あらためていふ
までもなく、アメリカの巨大
な産業組織は、世界をもつて
その市場なりとする前提の下
において成立し、今日までよ
くその實際を確保してきたの
であるが、日獨伊三ヶ國との

戦争の結果、それ一朝にし
て雲散霧消したつたとした
ら、アメリカは果して何處に
それと同等な新市場を求めよ
うとするのか。かやうに考へ
てくると、より多くの内部的崩
壊の危険を感ずるものは、一
見それらに見える日獨伊の
三ヶ國ではなく、反つてアメ
リカ自身だといふ事になる
これを要するに、日獨伊三
ヶ國とアメリカとの戦争は、
頭から樂觀してかゝるべきも
のでもないが、それかといつ
て、寧ろ非觀すべきものでは
ない。日獨伊三ヶ國にも弱點
はあるが、アメリカにもそれ
に劣らざる弱點がある。單なる
戰略的形勢からいふと、前者
は絶対に好望であるに拘らず

同時に東西兩洋の敵を引受け
完全に舊大陸から隔離された
アメリカの地位は、それ自身
如何にも難攻不落のやうでは
あるが、その實非常困難な
もので、アメリカがもしその
基本作戦を誤るやうなことで
もあらうと、アメリカは終始防
禦に維れ努めるばかりで、積
極的にその鋒を伸し得るや
うな機會は、永久にこれを失
つることになるかも知れない
ノックス海軍長官よ、ヤーネ
ル提督よ、嚴然たる事理の前
には、もはや如何なる威嚇も
存在し得る余地がない。吾人
は欣んで和戰兩様の準備を整
へ、靜かにアメリカの欲する
ところを待つであらう。
(池崎忠行)

海外の市場
を失ふ米國

自分の都合のいいことばか
のよい計算



やめよう

先づ、ビツショや賭事をひ
つたりやめよう
後から来てぶつつかつたり、
横から来てかきわけたり、そ
んな事は勿論いけませんが、人
々が大概にたやうな歩度で歩
いてゐる最中、自分一人が突
然立止つたりすることはやめ
よう、どうしても立止る必要
がある時は、先づ後をふり向
くこと、人混み時のチャレイタ
やサンペンでよくこしらへた
事に出會つて不愉快になりま
せんか
▲これは何んだらうの答
(二十一頁より)
1ペン先、2ナイフ、3
鉛筆、4物差し、5鉛筆
キヤツ、6ペン軸

年 新 賀 謹

吉村
美容院

ソロカバナ線
プ・プルデンテ市
電話 二四六
二二一

下江農具製造所

ソロ線ア・ベルナルデス町
電話 一一七

▼ペンソン並雜貨商△
當山 苗直

ソロ線ア・ベルナルデス町
電話 一九

川島
理髮店

島川 三好
ソロ線ア・ベルナルデス町

食堂
守越旅館

守越 喜三郎
ソロ線ア・マツヤード驛
電話 一八二

古賀 商店

ソロカバナ線
プ・プルデンテ市
電話 七五

Arnazen de Cereales
▼棉花農産物仲買
道垣内兄弟商會

生野 政實

ソロカバナ線
プ・プルデンテ市
電話 一一五

山下 製菓所

山下 満
ソロ線ア・ベルナルデス町
電話 二六〇

白石重徳

ソロカバナ線
プ・プルデンテ市
電話 四九
一

吉加江時計店

各種時計販賣並修理
吉加江 捨三
齊藤 吉孝

▼裁縫部
吉加江 米子
吉加江 弘子

◇新式裁断に依り迅速入念に御用命に應じます◇
プ・プルデンテ市 電話 二五一

▼農産物仲買△

矢田 橋次郎

三浦 謙治
ソロ線ア・ベルナルデス町
電話 一四八

平田 旅館

平田 耕喜
ソロ線アラグアス驛
電話 二七六

カーザ・コンパテ

ソロカバナ線アラグアス驛
電話 二二

百田 若松

ソロ線アラグアス驛
電話 五〇

アバレー産業組合

ソロ線アラグアス驛

醫學士

内田利藤次

ソロカバナ線ア・プルデンテ市
電話 一五〇 郵函 二四八

成のい裁縫女學校

ソロ線ア・マツヤード驛
電話 一七六

サンパウロ裁縫女學校分院
後藤 裁縫女學院

後藤 純江
ソロ線アラグアス驛
電話 四一

日ノ出旅館

村田 道江
ソロ線ア・プルデンテ市
電話 二〇

バラグアス産業組合

ソロカバナ線バラグアス驛

プ・ヴェンセスラウ

商工組合

ソロ線ア・ヴェンセスラウ町
電話 八一

プ・プルデンテ商工會

プ・プルデンテ市

鐵工場 製材所 各種修繕
稻毛 熊次郎

建築材料請負、家具品製造
荷車製造、プランタ品各種
アラド、エンシャイダ柄
ソロ線ア・ベルナルデス町
電話 四一
郵函 七一

ソロカバナ線

サンタ・アナスタシオ驛

棉花仲買並雜貨類
スタンダード石油會社代理店

大 西 清 志
電話 六六 郵函 八九

パール、バダリヤ・エストレーラ

山崎 俊 男

プラスチック代理店、農産物仲買

菊 地 全

旅館 鈴木 義 雄
電話 四〇 郵函 一四八
郵函 九〇

A Grande Obra Do Governo Federal Na Pasta Da Agricultura

Conferencia do sr. Fernando Costa, em comemoração ao decênio da administração do Presidente Getúlio Vargas

Grandiosas obras empreendidas pela inteligencia clara, dinamismo e energia do atual ministro da Agricultura

"Um homem que sabe, que trabalha, que se devota - porque ama o BRASIL!"

Em prosseguimento à série de conferências, que vêm sendo realizadas no Palácio Tiradentes, por iniciativa do Departamento de Imprensa e Propaganda, para comemorar o decênio do atual governo, coube ao ministro Fernando Costa falar sobre as realizações do presidente Getúlio Vargas no Ministério da Agricultura.

AS RIQUEZAS NATURAIS DO PAÍS

O sr. Fernando Costa iniciou sua palestra fazendo alusão às imensas e inesgotáveis riquezas do nosso país cujas terras — disse — merecem a variedade de climas e das diferentes formações geológicas se prestam a todas as culturas do globo.

Referiu-se, depois, ao nosso subsolo, onde se escondem quasi todos os minerais do mundo, para acentuar que, em tão grande cenário, a ação do homem técnico não pode deixar de se fazer sentir, tornando-se mesmo indispensável a racionalização da cultura, estandarização dos produtos destinados à exportação e para outras múltiplas e complexas providências, colimando riquezas concretas e recursos de natureza econômica para a vida do país.

Para isso — é necessário que o Ministério da Agricultura esteja convenientemente aparelhado e organizado, afim de poder controlar segura e eficientemente, todas as atividades inerentes à sua alta função de órgão criador e incrementador de riquezas. E por assim considerar, um dos primeiros atos do Estado Novo, nesse departamento, foi o de reformá-lo, corrigindo defeitos, sanando falhas e criando serviços novos com funções especializadas.

REALIZAÇÕES DO MINISTÉRIO DA AGRICULTURA

O sr. Fernando Costa iniciou essa parte da sua conferência fazendo referências às edificações já realizadas pelo Ministério, nos tres últimos anos, para dar uma segurança cada vez maior aos seus serviços.

Citou em primeiro lugar a Escola Nacional de Agronomia que está sendo construída na estrada Rio—São Paulo, e que é uma das maiores realizações do Ministério da Agricultura, por isso que se trata de um estabelecimento básico para a formação de valores indispensáveis ao desenvolvimento racional de nossas riquezas naturais.

Passou em seguida a explicar que junto à escola funcionarão estações experimentais de agricultura e pecuária, cujas obras já foram iniciadas, além de um aprendizado agrícola, este com sua construção já concluída, além de estações de sericultura e avicultura, também com suas construções já terminadas.

Referiu-se, em seguida, aos cuidados que o Governo vem dedicando aos aprendizados agrícolas por julgá-

los fatos indispensáveis ao preparo de condutores para os trabalhos rurais, informando que inúmeros desses estabelecimentos estão sendo instalados em diversos pontos do território nacional, assim como vem sendo feitas obras para a melhoria já existente no país.

Prosseguindo no seu relatório sobre as edificações que têm sido feitas, no seu Ministério, disse que simultaneamente e com os serviços que o Ministério da Viação executa na baixada fluminense, o da Agricultura, que já previu a importância da mesma



como celeiro que ha de ser desta Capital, no fornecimento de produtos essenciais à nossa alimentação, resolveu, além de ali localizar a 'Escola Nacional de Agronomia' e outras importantes dependências, aumentar a capacidade dos núcleos coloniais, de Santa Cruz e São Pedro. Para isso, disse, em 1939, construiu, no primeiro, 50 casas para colonos; no segundo, 40 casas para trabalhadores casados e 5 para funcionários.

A construção dos entrepostos, vem resolver o importante problema da conservação de produtos alimentícios de fácil deterioração e sua distribuição regular aos consumidores internos e externos.

Além de outros — tiveram, também, sua construção atacada os entrepostos de pesca do Rio Grande do Sul; de Cananéia, em São Paulo e de Angra dos Reis, no Estado do Rio, este já inaugurado pelo chefe do governo.

Referiu-se, com minúcia, a todas as construções já executadas, e em andamento pelo Ministério da Agricultura, com o fim de se aparelhar para melhor se desincumbir da árdua tarefa em favor do fortalecimento da economia nacional. E entre as centenas de edificações que têm sido feitas ou estão em andamento pelo Ministério em apreço, salientam-se as das estações experimentais de pisci-

cultura, em Pirassununga, e Porto Alegre; a de uma fábrica para o aproveitamento de cacau, em São Luiz, no Estado do Maranhão; a do Instituto de Ecologia Agrícola e do Instituto de Experimentação, em Santa Cruz, Distrito Federal, as das estações experimentais de trigo, em São Paulo, no Paraná, em Santa Catarina, no Rio Grande do Sul e em Minas Gerais; as das estações experimentais e campos de sementes de plantas têxteis, no Rio Grande do Norte, em Sergipe, Pernambuco, Minas Gerais, e na Paraíba. O ministro da Agricultura fez, nesse ponto, interessantes comentários a respeito do surto recente suto da cultura algodoeira no Brasil.

Acentuou que o Brasil, tem, hoje, no algodão, seu segundo produto na escala de exportação, após o café, contribuindo ele com 1.106.869.000\$000 correspondentes a 7.778.000 libras ouro em 1938.

Referiu-se, em seguida, ao Laboratório Central de Enologia, que tem por finalidade amparar, incentivar e controlar nossa indústria vinícola, trabalhando, por outro lado, pela melhoria de nossas variedades de uvas.

VANTAGENS DA FOLICULTURA

O ministro da Agricultura focalizou em seguida, as atividades do Departamento Nacional de Produção Vegetal. Acentuou que, graças ao trabalho metódico e racional que vem sendo executado por esse departamento do sistema monocultor, perigoso e arcaico, passamos, insensivelmente, à policultura, com vantagens tão reais e evidentes. Aludiu aos grandes benefícios obtidos com os trabalhos feitos pelo Ministério em cooperação com os governos estaduais mediante acordos assinados, para evitar duplicidades de atribuições e conjugar esforços de que resultou aumento no raio de ação e eficiência dos serviços. Citou o trabalho de cooperação, que constitui uma das principais formas de fomento agrícola, tiveram, nestes três anos, uma amplitude crescente. Nesse serviço que tem por fim incentivar o emprego de máquinas agrícolas e melhorar os métodos culturais, explicou, são adotadas três modalidades diversas. Na primeira, cooperação direta com o lavrador, em sua propriedade rural — foram mobilizados em 1939 — 11.937 hectares, em 918 campos, beneficiando vinte Estados. Com a segunda que é a dos permanentes, mantidos com as Prefeituras mediante contrato, foi ocupada uma área de 1.535,5 hectares distribuídos entre 360 campos, localizados em onze Estados e no Distrito Federal. Com a terceira, que é a chamada "cooperação de rápida execução" e que consiste no empréstimo e ensino do manejo de máquinas agrícolas, e na execução de uma ou mais operações agrárias, foram beneficiados i-

numerosos lavradores em todas as regiões do país.

Focalizou, a seguir, as finalidades da divisão de inspeção de produtos de origem animal, cuja ação útil se faz sentir através de 59 inspetorias regionais distribuídas em regiões onde a indústria pastil tem mais elevado índice de desenvolvimento, fiscalizando todos os estabelecimentos que manipulam produtos de origem animal.

EXPORTAÇÃO DE CARNES

Quanto à exportação de carnes frigorificadas, cuja fiscalização está a cargo desse serviço, salientou o orador, tem sido consideravelmente aumentado, pois, enquanto em 1938, eram exportadas 43.482 toneladas, em 1939, essa exportação atingiu a 41.735 e somente no primeiro semestre deste ano, já alcançou 88.37 toneladas.

Forneceu, depois, detalhes sobre a finalidade e tarefa da divisão de defesa sanitária animal, que vem se empenhando nos serviços de profilaxia das doenças contagiosas que mais atacam aos animais domésticos.

DESENVOLVIMENTO DA PESCA

Comentando as atividades da divisão acentuou ter o Estado Novo realizado no setor da pesca, grandes e arrojadas obras indispensáveis à consecução de trabalhos necessários ao desenvolvimento do país. Depois de citar ter sido essa divisão dotada com leis, regulamentos e outras disposições afines à caça e pesca, tecnicamente elaboradas pelos órgãos esportivistas, os conselhos nacionais de caça e pesca, citou as realizações do Governo nesse setor; entrepostos federal de pesca do Rio de Janeiro, em reposto de pesca na cidade do Rio Grande do Sul, e Argra dos Reis, no Rio; de Cananéia, no Estado de São Paulo; fábrica de industrialização do tubarão, no Maranhão; estação experimental de caça pesca em Pirassununga em S. Paulo e em Porto Alegre.

NO SETOR DO SERVIÇO DE ECONOMIA RURAL

As atividades do serviço de economia rural, assumem cada dia papel mais decisivo na vida nacional.

Sem aumentarmos a renda da terra permitindo lucro ao proprietário agrícola, a produção dos campos do Brasil não atingirá as proporções desejadas. Sobrevivirá mesmo o perigo de isolamento da produção rural. Encarando o problema de frente, o Governo criou o serviço de economia rural que tem como finalidade o exame do problema social dos campos; o estudo da renda da terra com o exame dos cuidados fiscais que sobre ela recaem; a organização econômica e profissional dos trabalhos do campo, trazendo-os diante da vinculação sólida; a elaboração com o poder público; a promoção de medidas necessárias para (CONTINUA NA PAGINA 32)

O formidável potencial do sólo matogrossense

Impressões do dr. Gastão de Faria, diretor do Fomento da Produção Vegetal

Desde que o presidente Vargas incluiu em seu programa de governo "A MARCHA PARA O OESTE", muito têm sido focalizados os recursos e as necessidades dos Estados dessa grande e despovoadora região.

A viagem do presidente Vargas veio, em seguida, demonstrar ao país, que a celebre frase deve ser realmente inteiramente sentida no exato de sua significação, pois que, na humilde outra região do Brasil, reclama tanto o auxílio de braços e capitais para o aproveitamento integral de suas imensas riquezas.

Logo depois, excursionando por Mato Grosso, o Ministro Fernando Costa, verificou a necessidade absoluta de transportes e da melhoria do godo, ali criado à lei da natureza.

O Governo, por intermédio do Ministério da Agricultura, já construiu no grande Estado do oeste um Agrupamento Agrícola, que firmará, em bases seguras, os futuros trabalhos da exploração da riqueza matogrossense.

Também a construção da rodovia Curitiba-Vilhena, em colaboração com o Exército, é outra providência que integrará na civilização brasileira mais um extenso território quasi desconhecido, que guarda preciosos tesouros, como o de Uruçumãuan.

IMPRESSÕES DE UM TÉCNICO
O sr. Gastão de Faria falando sobre a viagem do ministro Fernando Costa, declarou que a excursão ministerial foi longa, sendo percorridos mais de 6 mil quilômetros por vias diversas: por estrada de ferro, rodovias a pé, a cavalo e em embarcações fluviais.

Temos ocasião de apreciar durante esse verdadeiro raid prosseguido pelo diretor do Ministério da Agricultura — como o interior do Estado oferece as mais excelentes oportunidades para uma produção agrícola variada, dadas as particularidades do seu ótimo clima e da fertilidade de suas terras.

Os campos de pastagens, que cobrem extensas áreas, prestam-se para a criação, que constitui sua principal fonte de riqueza.

Em vários desses campos assistimos rebanhos imensos, que se desenvolvem à margem de qualquer recurso técnico.

O PANTANAL MATOGROSSENSE
— Outra região que empolga pelas suas possibilidades — continua o dr. Gastão de Faria, é a do pantanal, que com os seus trezentos mil quilômetros quadrados de superfície, representa uma área superior a do Estado de São Paulo e que, cortada por rios de fácil navegabilidade, será dentro de um futuro próximo um dos maiores celeiros do mundo.

OS GARIMPOS
O conhecido técnico do Ministério da Agricultura prosseguiu na sua interessante exposição, referiu-se, com entusiasmo, aos garimpos de Mato Grosso, nos quais o ouro e as pedras preciosas são encontradas à flor da terra e muitas vezes nas próprias ruas das cidades da região, como acontece de vulgar em épocas de chuvas.

Alem dos pantanais, existem a região Sul de Mato Grosso, onde a indústria pastoril, está desenvolvida e as terras são de primeira qualidade.

A RIQUEZA VEGETAL DO NORTE DE MATO GROSSO

— Resta ainda a região Amazônica, que, por falta de meios de transporte não nos foi possível visitar.

É uma região riquíssima, coberta de densas matas, onde flores e o poaia ou ipecaçuana, que constitui outra grande riqueza de Mato Grosso, deficiente e explorada.

Essa planta possui rizomas ricos em emelina, rizomas que atualmente são vendidos à base de 80\$ o quilo.

O ministro Fernando Costa, no intuito de melhor aproveitar essa fortuna da fora matogrossense, já recolheu os dados necessários para instituir a cultura raiz na dipacauanha, transformando a sinopse aproveitamento num dos valores reais da economia do Estado.

Terminando sua entrevista, o agrônomo Gastão de Faria referiu-se à presença do gal. Rondin na comitiva do ministro Fernando Costa, dizendo que a preciosa colaboração do ilustre sertanista, filho de Mato Grosso, permitiu ao titular da Agricultura a organização de inúmeros projetos, que, depois de submetidos à apreciação e uma vez aprovados pelo presidente Vargas, estabelecerão as bases definitivas para a ação decisiva do Governo nesse patriótico empreendimento, que é a "MARCHA PARA O OESTE".

Finalmente acrescentou que a ação federal será muito facilitada pelo Governo de Mato Grosso, a cuja frente se acha a figura moa e dinâmica do Interventor Julio Muller, que é um perfeito conhecedor das necessidades e das possibilidades de seu Estado.

Conhecer, amar, respeitar e trabalhar pela sua Terra!

1.º de janeiro de 1941!
O Brasil inicia hoje, mais uma etapa na sua ascensão para maior grandiosidade e maior glória, marchando em ritmo másculo e seguro!

1941 será mais um ano de realizações, construções, e conquistas!

O governo atual, chefiado pelo capitão de extraordinação do presidente Getúlio Vargas, goza de um prestígio que jamais outro governo conseguiu arrolar, em toda a história pátria. E incondicionalmente apoiado nas suas ações, por todo o povo traíto, vai executando com energia e segurança, o seu programa altamente patriótico de desenvolvimento intensivo em todos os quadrantes do progresso humano.

Nenhuma força estranha, nos desviará da rota traçada. Trabalha em uníssono, pela paz e orgulho de uma geração mais forte. E afé que os pretendem nos toher o caminho de nossos ideais. A tempera de nossa gente, está firmemente traduzida nas palavras de nosso Chefe: "Se por contingências es rathas à nossa vontade de viver e trabalhar em paz, tivermos que reagir a qualquer agressão, saberemos honrar e defender o Brasil!" — Ai está o grito viril de nossa mocidade, es a mocidade que no dia 16 de dezembro, encheu os quartéis, num veemente protesto de solidariedade cívica à Pátria!

O Brasil agiganta-se! Desperta o "gigante de tado eternamente! Eleva-se e domina os horizontes, como Gulliver no país de Lilliput. E quando o Brasil falar pela voz de sua civilização, no concerto das nações, os outros cairão como calam se todos os passaros quando canta o Yapurú da Amazonia!

Desde 1930, nossas conquistas são incontáveis. Temos a nossa Constituição, um lítimo objeto de orgulho do gntu de civilização que alcançamos. O novo Código Penal, há pouco promulgado, é uma obra mo ume. tal em

matéria penal hodierna.

As nossas classes armadas, com o regime político implantado a 10 de novembro, o Exército encontrou, afinal, o clima indispensável para o seu desenvolvimento eficiente", declarou s. excia. o ministro Ga-par Dutra. Os estaleiros da nossa Marinha de Guerra batem os cascos das nossas telonaves, em promessas fecundas de grandes empreendimentos! O problema da seca do nordeste terá em breve a sua solução. Teremos a nossa siderurgial "A organização da Justiça do Trabalho aende perfeitamente à realidade econômica e geográfica do país" afirma s. excia. o minist. Wel-de-iar Falcão! "Projeta-se a criação do Ministério do Ar", declara s. excia. o ministro Mendonça Lima! Teremos a nossa fabrica de avião e a nossa armada aérea cresce para esta apta a defender os céus do Brasil! Com a criação do Ministério do Trabalho, as classes trabalhistas e patronais encontraram por fim resposta aos seus direitos e legítimas reivindicações e hoje, perto de dois milhões de trabalhadores brasileiros, encontram-se assegurados nas caixas e institutos contra os diversos riscos sociais. No dia 23 de novembro último, em Washington, foi firmado o acordo entre os Estados produtores de café nas Américas e os E. E. U. U., o que representa um grande passo para a solução do magno problema do café. "Baseado no desenvolvimento nacional da produção agro-pecuária e extrativa, como fundamento de verdadeiros industrialismos, marcha firmemente o Brasil para a sua emancipação econômica", afirma s. excia. o ministro Fernando Costa. As estradas rasgam em todas as direções, o seio virgem do nosso "hinterland" que guarda avaram nte, tesouros incalculáveis. E a MARCHA PARA O OESTE continua, para a grandiosa do Brasil!

Conhecei, amai, respeitei e trabalhai pela sua Terra! FAMA

O CONSUMO DE PEIXE

O consumo anual de peixe, "per capita em alguns países:

Noruega	— 300 quilos
Canadá	— 250 "
Japão	— 86 "

T. Janér & Cia.

fornecedora de papel do Notícias de S. Paulo, deseja a todos os seus fregueses e amigos, Boas Festas e toda a felicidade no transcorrer do Ano Novo.

A grande Obra do Governo...

(Continuação da pag. 31)

ra que métodos técnicos financeiros e comerciais sejam aplicados à nossa exploração.

A PRODUÇÃO DE METAIS

Referiu-se o orador aos grandes benefícios da estatística da produção indispensável à boa administração, informando que, graças ao trabalho desse serviço, já se pôde levar ao conhecimento do país que de janeiro a setembro deste ano produzimos 137.478 toneladas de gusa, no valor de 51.319.000\$000; 102.366 toneladas de ferro laminado no valor de 119.103.000\$000; 105.598 toneladas de aço, no valor de 81.278.000\$000; 3.450 quilos de ouro das minas, no valor de 65.933.000\$000; 555 quilos de prata no valor de 124.000\$000.

O titular da Agricultura, terrível a sua conferencia salientando o apoio decidido e eficaz do presidente Vargas, que tem fornecido ao Ministério da Agricultura, todos os recursos necessários ao êxito de seus empreendimentos; mostrando-se também grato, com a colaboração e o seu funcionário. De modo seguro e exato, a exposição do ministro Fernando Costa vem revelar ao país as grandes realizações do governo do presidente Vargas que transformou em seu fundo decênio de administração a economia nacional fortalecendo-a com a criação de numerosas riquezas e intensificação das que já eram exploradas.

E assim baseado no desenvolvimento nacional da produção agro-pecuária e extrativa, como fundamento de verdadeiros industrialismos, marcha firmemente o Brasil para a sua emancipação econômica.

Logo depois de terminado a conferencia feita pelo ministro da Agricultura, o chanceler Oswaldo Aranha que presidiu o ato, pronunciou as palavras seguintes:

"Todos nós aqui presentes, tivemos o prazer de ouvir um homem que sabe que trabalha, que se devota — porque ama o Brasil!"

O NOTÍCIAS DE S. PAULO

iniciando hoje, o seu XX ano da missão de que se revestiu no seio dos agricultores japoneses radicados no Brasil, deseja a todos os seus leitores, Boas Festas e um prospero e Feliz Ano Novo.